

第二十三回 貴族院議事速記録第十八號

明治四十年三月二十六日(火曜日)

午前十時七分開議

議事日程 第十八號 明治四十年三月二十六日

午前十時開議

第一 明治三十八年度豫備金支出ノ件外六件承諾ヲ求ム

會 議

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第三 明治四十年年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

會 議

第四 明治四十年年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)

會 議

第五 裁判所、臺灣總督府法院、統監府法務院又ハ理事廳ト關東都督府法院トノ間ニ於ケル法律上ノ共助ニ關スル法律案

第一讀會ノ續(委員長報告)

第六 關稅定率法輸入稅表中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第七 鑛業法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第八 和歌山縣下郡界變更法律案(衆議院提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第九 煙草專賣法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十 市場法案(衆議院提出)

第一讀會

第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

議(委員長報告)

第十二 十七年度各特別會計歳入歳出決算報告並會決議案(四件)

會 議

第十三 商業教育ニ關スル建議案(伯爵柳澤保惠外五名提出)

會 議

第十四 國語及字音假名遣ニ關スル建議案(伯爵德川達孝外六名提出)

會 議

第十五 軍人恩給法ニ基キ扶助料下付ノ請願

會 議

第十六 島根縣那賀郡和田村郵便局設置ノ請願

會 議

第十七 占考者資格及監督ニ關スル請願

會 議

第十八 臺灣調查ノ請願

會 議

第十九 地種組換ノ請願

會 議

第二十 在外國賣淫婦取締法制定ニ關スル請願

會 議

第二十一 登錄稅法中一部改正ノ請願

會 議

第二十二 漆樹栽培保護ニ關スル請願

會 議

第二十三 種牛配付ノ請願

會 議

第二十四 畜牛汽車運賃引下ニ關スル請願

會 議

第二十五 牛馬賣買營業者取締規則制定ニ關スル請願

會 議

第二十六 軍人恩給法附則改正ノ請願

會 議

第二十七 高等工業學校設置ニ關スル請願

會 議

第二十八 青森港灣修築ニ關スル請願

會 議

○副議長(侯爵黑田長成君) 議長ハ遲參ニ付キマシテ本員本席ヲ保チマス、是ヨリ報告ヲ致シマス

〔小原書記官朗讀〕

昨二十五日本院ニ於テ議決シタル政府提出刑法改正案兩院協議會成案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル政府提出刑法改正案ハ兩院協議會ノ成案ヲ可決シ奏上シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

同日本院ニ於テ議決シタル政府提出權太ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案ハ即日裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

同日各特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

鑛業法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵大村 純雄君

副委員長 安廣伴一郎君

和歌山縣下郡界變更法律案特別委員會

委員長 伯爵松本 宗隆君

副委員長 子爵牧野 貞寧君

治安警察法中改正法律案特別委員會

委員長 侯爵德川 賴倫君 副委員長 伯爵廣澤 金次郎君

北海道ニ市制ヲ施行スル法律案外二件特別委員會

委員長 侯爵佐竹 義生君 副委員長 男爵園田 安賢君

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵德川 達孝君 副委員長 辻 新次君

同日災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案特別委員會ノ報告ニ對シ委員西村亮吉君宮島誠一郎君鳥越貞敏君ヨリ少數者意見ヲ提出セリ

同日明治三十四年法律第二十七號中改正法律案特別委員會ノ報告ニ對シ委員西村亮吉君宮島誠一郎君鳥越貞敏君ヨリ少數者意見ヲ提出セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ
明治三十八年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治三十八年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治三十八年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治三十八年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治三十八年度清國事件第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治三十八年度臨時事件豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治三十八年度臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

同日衆議院ヨリ同院提出市場法案ヲ受領セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

日本勸業銀行法中改正法律案

農工銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中改正法律案

藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案

關東都督府及韓國駐劄軍陸軍軍法會議法案

○侯爵佐竹義生君 此際、チヨット伺ヒマスガ、本員ハ北海道ニ市制ヲ施行スル法律案外二件ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス、唯今ヨリ退席シテ御差支ハゴザイマセマカ

○副議長(侯爵黑田長成君) 差支アリマセヌ、宜シウゴザイマス

○侯爵佐竹義生君 ドウゾ委員ノ御方ハ御退席ヲ願ヒマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第一、明治三十八年度豫備金支出ノ件外六件承諾ヲ求ムルノ件、政府提出、衆議院送付、會議

〔左ノ通牒文ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

明治三十八年度豫備金支出ノ件

明治三十八年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

明治三十八年度特別會計豫備金支出ノ件

明治三十八年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件

明治三十八年度清國事件第二豫備金支出ノ件

明治三十八年度臨時事件豫備費支出ノ件

明治三十八年度臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支出ノ件

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十年三月二十五日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長 公爵德川家達殿

一 明治三十八年度豫備金支出ノ件

一 明治三十八年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

一 明治三十八年度特別會計豫備金支出ノ件

一 明治三十八年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件

一 明治三十八年度清國事件第二豫備金支出ノ件

一 明治三十八年度臨時事件豫備費支出ノ件

一 明治三十八年度臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支出ノ件

右帝國憲法第六十四條第二項ニ依リ承諾ヲ求ムル爲勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治四十年二月二十一日

內閣總理大臣 侯爵西園寺公望
陸軍大臣 寺內 正毅

農商務大臣 松岡康毅
海軍大臣 齋藤實
大藏大臣 博士 阪谷芳郎
逓信大臣 山縣伊三郎
司法大臣 松田正久
內務大臣 原敬
文部大臣 牧野伸顯
外務大臣 子爵林董

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 此案ニ就キマシテハ大藏大臣カラ申上ゲル等デゴザイマスガ、唯今衆議院ノ委員會ノ方ヘ出席シテ答辯ヲシテ居ル際デアリマスルノデ、私ガ代ッテ此所デ申上ゲマス、本件ハ實ハ政府ハ成ルベク早く提出イタシマシテ、會期ノ十分アルトキニ御審議ヲ願フ考デ居リマシタガ、丁度計算書等ノ都合デ提出ガ遅レタト云フコトニナリマシタシ、又衆議院デ討究スル時間ガ長ク掛リマシテ、遂ニ會期切迫ノ時ニ本院ニ同ッテ參リマシタコトハ、御審議クダサル上ニ餘日ノ無イコトヲ政府ハ甚ダ御氣ノ毒ニ考ヘマシテ、甚ダ遺憾トスル所デアリマスガ、今期ノ議會ニ此問題ガ決定シテ居リマセスト、來年度ニナルト又三十九年度ノ分ト合セテ兩方更ニ御審議ヲ願ハナケレバナラスコトニナリマシテ、甚ダ不都合ナコトニナルト思ヒマスノデ、會期ノ餘日ノ無イ時デゴザイマス故ニ、ドウゾ成ルベク速ニ委員會ヲ御開キ下サイマシテ、御審議ノ上ニ承認ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 別段御發議ガゴザイマセヌケレバ、議事日程ノ第二ニ移リマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、是ハ議長指名デ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○副議長(侯爵黑田長成君) ソレデハ直ニ指名ヲ致シマス、書記官長ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔太田書記官長朗讀〕

明治三十八年度豫備金支出ノ件外六件承諾ヲ求ムルノ件特別委員

貴族院議事速記録第十八號

明治四十年三月二十六日

明治四十年年度歳入歳出總豫算追加案 會議
明治四十年年度各特別會計歳入歳出豫算追加案 會議

伯爵清棲 家敷君 子爵松平 容大君 男爵北垣 國道君
淺田 德則君 千坂 高雅君 藤田 四郎君
阿部 浩君 柴田 家門君 得能 通昌君

○副議長(侯爵黑田長成君) 此際諸君ニ御諮リ致シマスガ、議事日程第三、第四ハ均シク豫算委員長ノ報告デアリマスカラ、此二ツヲ束ネテ問題ニ致シテ、サウシテ報告モ同時ニ致シテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○副議長(侯爵黑田長成君) 議事日程第三、明治四十年年度歳入歳出總豫算追加案、第二號、會議、第四、明治四十年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、特第二號、會議、豫算委員長報告、正親町伯爵

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以上之ニ倣フ〕
一明治四十年年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

一明治四十年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月二十五日

豫算委員長

伯爵正親町實正

〔伯爵正親町實正君 豫算委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報道イタシマス、第二號追加豫算ハ至ッテ簡單ナ案デゴザイマシテ、是ハ歳入歳出共ニ九十二萬千百九十八圓ノ金額デゴザイマス、此支出ヲ要シマスル所以ハ先日法案ノ通過イタシマシタ韓國森林特別會計、之ニ資金ヲ要シマス爲ニ三十萬圓ヲ繰入レマス、ソレカラ司法省所管ニ於キマシテ裁判所ノ火災ノ爲ニ新營費ヲ要シマス、文部省所管ニ於キマシテ高等學校二箇所燒失ニ付キマシテ、是モ營繕費ヲ要シマス、農商務省ノ所管ニ於キマシテモ矢張り火災ノ爲ニ新營費ヲ要シマス、ソレカラ逓信省ノ所管ニ於キマシテハ、電信電話ノ營繕費、ソレカラ此間燒失イタシタ逓信本省ノ建築費、是ハ五十萬餘カカリマスルガ、是ハ四十年度ト四十一年度ノ繼續事業トシテ要求ニナリマシタ、其四十年度ニ於テ

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵正親町實正君 豫算委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報道イタシマス、第二號追加豫算ハ至ッテ簡單ナ案デゴザイマシテ、是ハ歳入歳出共ニ九十二萬千百九十八圓ノ金額デゴザイマス、此支出ヲ要シマスル所以ハ先日法案ノ通過イタシマシタ韓國森林特別會計、之ニ資金ヲ要シマス爲ニ三十萬圓ヲ繰入レマス、ソレカラ司法省所管ニ於キマシテ裁判所ノ火災ノ爲ニ新營費ヲ要シマス、文部省所管ニ於キマシテ高等學校二箇所燒失ニ付キマシテ、是モ營繕費ヲ要シマス、農商務省ノ所管ニ於キマシテモ矢張り火災ノ爲ニ新營費ヲ要シマス、ソレカラ逓信省ノ所管ニ於キマシテハ、電信電話ノ營繕費、ソレカラ此間燒失イタシタ逓信本省ノ建築費、是ハ五十萬餘カカリマスルガ、是ハ四十年度ト四十一年度ノ繼續事業トシテ要求ニナリマシタ、其四十年度ニ於テ

要求シマス高ガ三十二萬二千八百圓ガカリユナリマス、總テ此案ハ火災ノ新

營若クハ營繕費ニナリマス、之ニ對シマスル歳入ハ本年度ノ韓國森林デハア

リマセメ、是ハ韓國鐵道ノ材料ニ供シマス爲ニ要求ニナリマシタ農商務省

ノ森林伐採ノ費用デアリマス、ソレガ四十年度ノ收入ニナリマス、高ガ二十

八萬圓餘、ソレト其他ハ前年度繰入金デゴザイマス、是ハ已ムヲ得ナイモノ

ト認メマシテ、質問ハ多クゴザイマシタガ、總テ原案ノ通り可決スルト云フ

コトニナリマシタ、次ハ特別會計ノ特第二號デゴザイマス、是モ至テ簡單

デゴザイマシテ、是ハ韓國森林特別會計ニ依リマシテ、韓國森林ノ經營ニ要

シマスル費用ヲ特別會計ニ計上サレタ案デゴザイマス、是ハ御覽ノ通りノ收

支計算デゴザイマス、是モ別段異議ナク原案ノ通りニ決シマシタ、ソレデ

尚ホチヨット一言申上ゲマスガ、此案ニ就キマシテハ色ミ質問ハゴザイマシ

タガ、尚ホ其終リニ臨ミマシテ、或ル委員ノ一人ヨリ臺灣ノ彩票ノコトニ付

イテ總理大臣、內務大臣ヘノ質問ガゴザイマシタノデゴザイマスガ、折節兩

大臣トモ病氣又ハ差支ノ爲ニ出席ガゴザイマセヌ爲ニ、已ムヲ得ズ、... 遞

信大臣ノ出席ガアリマシタ爲ニ遞信大臣マデ委員會ノ質問ガゴザイマシタ、

尙ホ其事ヲ總理大臣並ニ內務大臣ヘ傳ヘテ貰ヒタイ、斯ウ申スコトデゴザイ

マシタ、ソレユエ大臣ノ答辯ハ其席デハゴザイマセヌ、尙ホ會期ノ終リマデ

ニ委員長マデ其答辯ヲ求ムル、斯ウ云フコトデゴザイマス、其事柄ハ速記録

ニ載ッテ居リマスカラ速記録デ御覽ヲ願フコトニ致シマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 第三ト第四ト兩案トモ束ネテ決ヲ採リマス、豫

算委員長ノ報告ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 多數ト認メマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 第五、裁判所、臺灣總督府法院、統監府法務院

又ハ理事廳ト關東都督府法院トノ間ニ於ケル法律上ノ共助ニ關スル法律案、

政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

裁判所、臺灣總督府法院、統監府法務院又ハ理事廳ト關東都督府法院ト

ノ間ニ於ケル法律上ノ共助ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月二十五日

貴族院議長公爵德川家達殿

右特別委員長
子爵大久保忠順

○子爵會我祐準君 此際、本員等、公共團體課税ノ制限ニ關スル法律案ヲ今

日委員長ヲ選舉イタシマシテ、直ニ會議ヲ開キタイト考ヘマス、餘日ガゴザ

イマセヌカラ唯今カラ退席ヲ願ヒタイト思ヒマス、如何デセウ

○副議長(侯爵黑田長成君) 宜シウゴザイマス

【子爵大久保忠順君演壇ニ登ル】

○子爵大久保忠順君 本案ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報道イタシマ

ス、此委員會ハ去ル二十三日ニ一回開キマシテ正副委員長ノ互選ヲ致シマシ

タ、其後昨二十五日ニ第二回ヲ開キマシテ、政府委員ノ説明ヲ承リマシタ、

委員中ヨリモ種々質問ガゴザイマシタ後、本案ハ關東都督府ト内地ノ裁判所

ト臺灣總督府法院、統監府法務院又ハ理事廳トノ間ニ法律上ノ共助ヲ爲スト

云フ案デアリマシテ例ヘバ訴訟書類ノ送達トカ...

【大聲ニ願ヒマス】ト呼ブ者アリ

咽喉ガ痛ウゴザイマスカラ餘リ大キイ聲ハ出マセヌ、訴訟書類ノ送達トカ證

據調、令狀ノ執行等ニ付キマシテ民事刑事ノ事務ニ付イテ互ニ囑託ヲ受ケテ

共助スルト云フ法律案デゴザイマスカラシテ、現今ノ事情最モ必要ナル案ト

認メマシテ、委員會ハ全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ、此段御報告ヲ致シマ

ス、右ノ次第デゴザイマスカラ、ドウカ滿場ノ諸君モ御異議ガゴザイマセヌ

ケレバ、御覽ノ通り極簡單ナル法律案デゴザイマスカラ、讀會ノ順序ヲ省略

シテ直ニ確定議ニテラムコトヲ希望イタシマス、ドウカ御贊成ヲ願ヒマス、

尙ドウカ御質問ガゴザイマスレバ政府委員ニ直ニ御質問アラムコトヲ希望イ

タシマス

○子爵稻垣太祥君 贊成

○子爵堤功長君 贊成

○子爵大田原一清君 贊成

○子爵伏原宣足君 贊成

○伯爵廣澤金次郎君 贊成

○伯爵池田詮政君 贊成

○子爵板倉勝達君 贊成

○子爵本莊壽巨君 賛成

〔其他〕賛成「ト呼フ者多シ」

○副議長(侯爵黒田長成君) 讀會省略ノ動議ニ定規ノ賛成者ガアッタト認メマス、讀會省略ノ動議ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案ニ對シテ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 然ラバ可決ト認メマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 第六、關稅定率法輸入稅表中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

關稅定率法輸入稅表中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月二十三日

右特別委員長

馬屋原 彰

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔馬屋原彰君演壇ニ登ル〕

○馬屋原彰君 此法案ニ就キマシテ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ本員ヨリ御報告イタシマス、此關稅定率法輸入稅表中改正法律案ハ御承知ノ通り衆議院ノ提出案デアリマスルガ、其改正ハ現行ノ規定ニ依リマスルト輸入稅金ガ二十錢トナッテアリマスルノデ、其稅額ノ高イガ爲ニ段々輸入ノ數ガ減ジテ來マサル、從ッテ此農業ノ肥料ノ原料ニ必要ナル所ノ棉子ノ量數ト云フモノガ減少イタシマスルシ、又之ガ爲ニ或ル地方ニ於キマシテハ、工業ノ衰頹ヲモ來タシテ居ルト云フ實況ガアリマスルカラシテ、此際、此輸入稅ノ二十錢トアリマスルノヲ十錢ニ致シマシテ、サウシテ此棉子ノ輸入ヲ促シ、之ヲ以テ目下農業ノ肥料ニ供スル所ノ棉子ノ不足ヲ補フノ一手段トシ、併セテ工業ノ衰頹ヲモ挽回シヤウト云フノガ大體ノ趣旨デアリマス、ソレデ委員會ニ於キマシテモ篤ト審査ヲ重ネマシタ末、出席員ノ一致ヲ以テ之ヲ可決イタシマシタ次第デアリマスル、尙ホ申上ゲマスルガ、現行ノ規定ニ依リマスルト云フト、

御承知ノ通り此棉子ノ輸入稅ト云フモノハ二十錢デアリマシテ、其中七錢ハ戻稅ニナッテ居リマス、今回ノ改正法律案デアリマスルト云フト、其戻稅ヲ全廢イタシマシテ、單ニ輸入稅ノ十錢ヲ課スルコトニナルノデアリマス、又此棉子ノ輸入ノ數ヲ減ジマスル結果ハ、内地ノ農業其他工業ノ上ニ付イテ非常ナ宜シクナイ結果ヲ來タスノデアリマスカラシテ、政府ノ意見ヲ聞キマシタ所デ、政府ニ於キマシテモ此衆議院ノ改正案ニ付イテハ異議ハ無イト云フコトデアリマス、斯ノ如ク極メテ簡單ナル法案デアリマスカラシテ、直ニ讀會ヲ省略シテ確定セラレムコトヲ希望イタシマス

○田中芳男君 賛成

○伊澤修二君 賛成

○谷森眞男君 賛成

○子爵平松時厚君 賛成

○侯爵池田詮政君 賛成

〔其他〕賛成「ト呼フ者アリ」

○副議長(侯爵黒田長成君) 規定ノ賛成者ガアッタト認メマス、讀會省略ノ動議ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案ニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 然ラバ可決セラレマシタ

○侯爵池田詮政君 チョット伺ヒマス、裁判所管轄區域變更ノ委員會ヲ今カラ開キタウゴザイマスガ宜シウゴザイマスカ

○副議長(侯爵黒田長成君) 差支ゴザイマセス、宜シウゴザイマス

○侯爵池田詮政君 ソレデハ委員會ノ御方ハドウゾ御出デラ願ヒマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 第七、鑛業法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

鑛業法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月二十五日

右特別委員長

伯爵大村 純雄

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵大村純雄君演壇ニ登ル〕

○伯爵大村純雄君 唯今議題ト相成リマシタル鑛業法中改正法律案ニ付キマシテ特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告イタシマス、此特別委員會ハ昨二十五日午前ニ委員長及副委員長ノ選舉ヲ行ヒ、引續イテ審查會ヲ開キマシテゴザイマス、本案ハ衆議院提出ノ案デゴザイマスルガ、政府委員ヘ種々質問イタシマシタ上、本案ニ就イテハ政府ニ於テモ全ク同意デアル、此改正ハ最モ必要ヲ感ジテ居ルト云フ意味ノ答辯デゴザイマシタ、依ッテ委員ハ十分ニ審査ノ上、全會一致ヲ以テ可決スベキモノデアルト議決イタシマシテゴザイマス、此案ハ誠ニ簡單ナル案デゴザイマスルニ依ッテ、何卒讀會省略ヲ以テ可決セラレムコトヲ希望イタシマス

○子爵谷干城君 讀會省略ニ賛成

○男爵石黑忠惠君 讀會省略ニ賛成

○子爵堤功長君 賛成

○伊澤修二君 賛成

○子爵大田原一清君 賛成

〔其他「賛成」ト呼ブ者多シ〕

○副議長(侯爵黑田長成君) 定規ノ賛成ガアッタト認メマス、讀會省略ノ動議ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 三分ノ二以上ト認メマス、本案ニハ御異議ハゴサイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○副議長(侯爵黑田長成君) 然ラバ原案可決ニナリマシタ

○副議長(侯爵黑田長成君) 第八、和歌山縣下郡界變更法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

和歌山縣下郡界變更法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月二十五日

右特別委員長

伯爵松本 宗隆

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵松本宗隆君演壇ニ登ル〕

○伯爵松本宗隆君 本案ニ付キマシテ委員會ノ經過ト結果トヲ御報告申上ゲマス、本案ハ御覽ノ通りニ和歌山縣ノ東牟婁郡ニ屬シテ居リマスル佐本村ヲ西牟婁郡ノ方ヘ編入スルノ案デアリマシテ、委員會ニ於キマシテ審查イタシマシタル所、此佐本村ト申シマスル所ハ舊藩ノ歴史カラ見マスレバ今日ノ西牟婁郡ノ方ニ屬スベキ緣故ガ多イノデアリマスルシ、又地理ノ上カラニ於キマシテハ東牟婁ノ方ヘハ山ト坂トニテ甚ダ不便デアリマスルガ、之ニ反シテ西牟婁ノ方ニハ道路ガ能ク通ジテ居ルサウデアリマスルシ、又郡役所ノ方ニ參リマスルニモ其所管ノ新宮ノ方ヘハ二日ノ行程デ二十里ホドモ行カネバナラヌノデアリマスルガ、是ガ西牟婁ノ田邊ニ變更ニナリマスレバ其半分ノ十里ニテ達スルト云フコトデアリマスルシ、又商業ノ關係ニ於キマシテモ重モニ西牟婁郡ノ周參見トカ和深トカ申シマスル所デ取引ヲ專ラニシテ居リマスルカラ、東牟婁ノ方トハ商業上ノ關係ハ全ク無イノデアリマシテ、從ッテ風俗ノ點ニ於キマシテモ東ノ方トハ趣ヲ異ニシテ居リマスルガ、西ノ方トハ全ク相同ジト云フコトデゴザイマス、斯ノ如ク風俗ナリ商業ナリ地理ナリニ於キマシテ、其所屬ノ東牟婁郡ト全然利害ノ關係ヲ異ニシテ居リマスルカラ之ヲ離シマシテ、種々ノ點ニ於キマシテ相接近シテ居リマスル所ノ西牟婁郡ニ編入ヲ致シマスルト云フコトハ全ク實地ノ必要カラ生ジテ來タコトト認メマシタ、サウシテ政府ニ於キマシテモ此邊ノ事實ヲ認メラレマシテ編入スルコトニハ同意ヲ表サレタノデアリマス、依ッテ委員會ニ於キマシテハ本案ハ適當ナルコトト認メマシテ一ノ異議モ無クシテ即日ニ可決ニ相成リマシタ次第デゴザイマス、此段ヲ御報告申上ゲマス、斯様ナル次第デアリマスルカラ、ドウカ御賛成ヲ希望イタシマス、且ッ本案ハ申上ゲマシタル如ク極單純ナ案デアリマスルカラ讀會ヲ省略シテ直ニ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○伊澤修二君 讀會省略賛成

○男爵川口武定君 賛成

○伯爵廣澤金次郎君 賛成

「其他」賛成「ト呼ブ者多シ」

○副議長(侯爵黒田長成君) 讀會省略ノ動議ニ定規ノ賛成ガアッタト認メマス、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案ニ御異議ハゴザイマセスカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ」

○副議長(侯爵黒田長成君) 然ラバ可決ト認メマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 議事日程第九、煙草專賣法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

煙草專賣法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月二十五日

右特別委員長

子爵大田原 一清

貴族院議長公爵徳川家達殿

「子爵大田原一清君演壇ニ登ル」

○子爵大田原一清君 諸君、唯今議題ニ上ホリマシタ煙草專賣法中改正法律案、此報告ヲ申上ゲマス、此法案ハ衆議院カラ回ッテ參リマシタ案デゴザイマシテ、二十一日ニ正副委員長ノ互選ヲ致シマシタ、二十三日ニ委員會ヲ開キマシタガ、是ハ少數デ流會ニナリマシタ、二十五日即チ昨日、此案ニ就キマシテ審議ヲ盡シマシタ、委員諸君カラモ鄭重ナル質問モアリ、又政府カラモ之ニ付イテ懇篤ナル説明ガゴザイマシタ、御承知ノ通りニ此法案ハ戰時中ニ出來マシタ所ノ法案デ、最モ政府ニ取リマシテハ、誠ニ人民ガ血ヲ流シ、涙ヲ流シテ努メマシタ所ノ立派ナ法案デアアル、併ナガラ其際デアリマスカラ少シ不備ノ點ガアリマス、ソレヲ補フ爲ニ衆議院ニ於テ斯ノ如ク改正ヲ致シマシタ次第デ、第七十五條中第一項ノ次ニ一項ヲ加ヘタ、是ハ御覽クダサル通りデアリマス、此法案ニ付イテハ委員會デハ委員諸君ガ、老練ナル委員諸君ガ最モ力アル所ノ質問ヲ致シ、其結果トシテ政府ハ反對デアリマスルケレドモ、滿場一致デ此法案ハ議決ニナリマシタ、詰リ此法案ノ大體ノ所ヲ申

上ゲマスルト、曩ニ大藏大臣カラシテ御答辯ニナリマシタヤウナ譯デ、葉煙草竝ニ製造業者等ニ金ヲ與フル所ニ少シ不當ノ點ガゴザイマス、之ヲ滿タシマスルガ爲ノコトデアアル、極案ハ明瞭デゴザイマス、且ツ委員諸君ノ中カラシテ此案ニ付キマシテモ説ガ出テ居リマス、其説ヲ御參考ノ爲ニ一言申上ゲマス、或ル委員ノ一人ハ斯ウ云フコトヲ言ハレマシタ、政府デ之ニ反對ヲスル理由ガ有ルカモ知ラヌガ、今日段々質問ノ結果、承ッテ見ルト、此法案ハ最モ適當ナ法案デアアル、ナゼナラバ此戰時中ニ色々專賣ニナッタモノモゴザイマス、是ハ營業者トシテハ最モ活動シテ利益ヲ見テ居ッタノデアアル、併ナガラ彼ノ大戰デゴザイマスルカラ涙ヲ吞ンデ政府ニ此業ヲ差上ゲタ、併シ其當時ノ政府カラシマシテ金ヲ與ヘラレマシタ者ハ、買上ゲノ場合ニ、村井ガ百八十五萬圓、岩谷ガ三十六萬七千圓、千葉ガ五十萬八千圓、其他ハ遺ッテ無イ、少シハ有ッタカ知レマセヌガ遺ッテ無イ、誠ニ此營業者ニ取リマシテ不幸ナ次第デ、御承知デモゴザイマセウガ、東京ノ此大都會ニ於キマシテモ隨分、人ニ知ラレマシタ所ノ營業者ガ見世ヲ仕舞ヒマシテ他ニ轉ズルヤウナ不幸ナ境遇ニ陥ッタ者ガアリマス、其他煙草ガ出來マスル各縣 栃木縣下ナドニ於テモ隨分悲境ニ陥ッタ者モ有リマス、中ニ甚シキハ鐵道往生ヲシタ者モアリマス、是ハ此法案ニ付キマシテハ、諸君ノ御意見ハ如何デアリマスカ知レマセヌガ、委員會デ詰リ可決シタ理由ハ、誠ニ氣ノ毒デアアルト云フコトデ、是ハ政府ガ反對ヲシテ法律ヲ遡テ之ヲ改正スルト云フコトハイカヌト云フヤウナ先達テモ説明モゴザイマシタケレドモ、ソレハ事ト品ニ依ッテハ、サウ云フコトモアル、併シ斯ウ云フ分ッテ居ルコトニ付イテ反對セラレルト云フ道理ハ決シテ無イ、日本ハ今日諸君ノ御承知ノ通り六億ノ大ナル所ノ六億ノ豫算ヲ議シテ居リマス、併シ以前デハ隨分小サイモノデアッタガ、今日ハ六億圓、何スレゾ二百萬圓ノ金ヲ與フルニ躊躇スルゾト云フ明瞭ナル御議論モゴザイマス、又或ル委員ノ中カラハ日本ハ血ヲ涙ヲ以テ成ッテ居ル所ノ國デアアル、其血ト涙ヲ以テ成立ッタ所ノ御國ノ人民ガ斯ウ云フ明瞭ナル願ヲスルモノヲ唯ダ政府ガ打切ルト云フノハ誠ニ不憫デハ無イカト云フヤウナコトカラシテ、色々政府カラ打切りノ御答辯モアリマシタケレドモ、ソレニモ拘ラズ滿場一致ヲ以テ可決シタ次第デアリマス、ドウゾ諸君ニ於テモ斯様ナ明瞭ナ所ノ案デアリマスルカラ、直ニ可決セラレムコトヲ希望イタシマス、尙ホ御質問ガゴザイマスレバ私ハ甚ダ此煙草ノコトニ付イテハ一向

不慣レデゴザイマス、有力ナ委員諸君カラシテ御鄭重ニ政府ニ御質問ニナッテ居リマスカラ、委員中ニ御質問ヲ願ヒマス、又本案ノコトニ付イテハ政府委員ニ御尋ネヲ願ヒマス

○子爵谷干城君 此問題ハ私モ一通リ事情ヲ承ッテ尤モニ感ジテ居ル一人デゴザイマスルガ、チヨット政府ヘ御尋ネ申シテ置キタイと思ヒマス、此失業者ト云フモノハ皆前ニ賠償ヲシテ貰ヒマシタ連中ニ較ブレバ皆小サイ者デア、ソレデ其數ハ随分多イヤウデア、聊カ緩急大小ガ有ルヤウデアリマスケレドモ、事情ニ於テハドウシテモ是ハ其時ニ十分ノ御詮議ガ無ケレバナバヌモノデアッタラウト私ドモハ信ズルノデゴザイマスガ、其御評議ノ茲ニ及バナカッタ所以ハ、ドウ云フ道理ニ基イテ御詮議ニ及バナカッタデアリマセウカ、ソコヲチヨット御尋ネシタウゴザイマス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 谷子爵ニ御答イタシマス、此立法ノ當時ニ於キマシテ葉煙草賣買業者ヘ交付金ヲ與フルト云フコトハ削除イタシマシタ、此製造業者ハ此業ヲ轉ズルニ付キマシテ今マデ自分ガ使用シテ居ル所ノ建物ナリ器械ナリト云フモノヲドウニカ處分シナケレバナラヌ、サウシテ新ナル業務ヲ始メナケレバナラナイ、併ナガラ葉煙草ノ賣買業者又製造煙草ノ賣買業者ト云フモノハ業ヲ轉ズル上ニ付イテ別ニ困難ハ無イ、固ヨリ從來執リ來ッタ所ノ業務ヲ變ヘルノデアリマスカラ、ソレハ多少難儀ニハ相違ナイ、併ナガラ製造業者ガ器械ナリ建物ナリヲ持テ資本ヲ固定サシテ居ル者トハ大ニ事情ヲ異ニシテ、即チ吳服屋ガ其業ヲ他ノ金物屋ニ變ヘルトカ何トカ云フ譯デ、其賣買スル品物ヲ取換ヘルダケノ話デアリマスカラ、左ホド此轉業ニ付イテ困難ヲ感ズル次第ハアルマイ、サウシテ見レバ此專賣ノ爲ニ業ヲ奪ハレルト云ウテ見タ所ガ、ソレハ即チ一ノ專賣ト云フ出來事ノ爲ニサウ云フ商業上ニ變化ヲ來タシタノデア、ソレデ國家カラ交付金マデ與ヘルト云フニハ及ブマイ、斯ウ云フコトデ即チ製造業者ト云フ所デ分界ヲ立テマシタ、其當時ニ於キマシテハ決シテ此問題ヲ脱漏シタ譯デハナイ、十分ニ此問題ニ付イテハ利害ヲ討究イタシマシテ交付金ハ付與セヌト云フコトニ政府ニ於テモ立法ノ當時、調査決定イタシマシタ次第デアリマス、ソレ故ニ過日第一讀會ニモ申述ベマシタ通り、立法當時ニ於テ既ニ相當ナ詮議ヲ盡シテ斯クアルベシト處分ノ濟ンダモノデア、ソレヲ今サラ法律ヲ遡ッテ改正スル必要ハ無イ、斯

ウ云フ理由デ政府ハ反對イタシマシタノデゴザイマス

○子爵谷干城君 私ハ是デ簡單ニ贊成ノ意ヲ述ベタイト存ジマス、唯今ノ當局大臣ノ御答ニ依リマシテハ、ドウシテモ私ハ満足ヲ得マセヌノデアリマス、如何ニモ業ハ違ッテ居リマスケレドモ、專賣ノ業ヲ以テ一世ノ生活ヲシヤウト云フ者ニナッテ、ソレガ爲ニハ無形ノ……財産ヲ卸シテ居ル、ソレヲ取上ゲテ仕舞フト云フ以上ハ、ドウシテモソレ等ノ生活ノ途ノ立ッテ行クヤウニト云フ御評議ハ其時ニ是非ナケレバナラヌコトト考ヘルノデアリマス、ソレデ今日衆議院ヨリ此案ヲ出シタト云フモノハ事情如何ニモ惘然デアルト云フコトヲ酌量サレテ提出ニナッテ、コチラヘ回ッテ來タモノト考ヘマス、私ナドモ其事情ヲ承ッテ實ニ氣ノ毒ニ存ズル一人デアリマス、今ノ委員長ノ報告通りニ、ドウゾ諸君ニ於カレマシテモ御贊成ニナッテ通過スルコトヲ偏ニ希望イタシマス、是ダケノコトヲ申上ゲマス

〔議長公爵徳川家達君議長席ニ著ク〕

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御質問モ無イヤウデゴザイマスカラ本案ヲ第二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○男爵徳川厚君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○子爵大田原一清君 贊成

○男爵高崎安彦君 贊成

〔其他「贊成」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 徳川男爵ノ動議ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、全部特別委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ第二讀會ハ終リマシ

タ

○男爵德川厚君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵大田原一清君 賛成

〔其他〕賛成「ト呼ブ者多シ」

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ本案ハ確定イタシマシタ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十、市場法案、衆議院提出、第一讀會

〔左ノ通牒文及議案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

市場法案

右本院提出案及送付候也

明治四十年三月二十五日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵德川家達殿

市場法

第一條 本法ニ於テ市場ト稱スルハ當業者集合シテ一種又ハ數種ノ物件ヲ賣買スル一定ノ場所ヲ謂フ

第二條 市場ヲ設立セムトスル者ハ行政官廳ノ免許ヲ受クヘシ

市町村其ノ他ノ公共團體又ハ公共組合ニ於テ市場ヲ設立セムトスルトキハ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

市場ノ種類ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 市場設立者ハ規約ヲ作り行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 市場ニ於テ賣買ヲ爲ス營業者ハ規約ノ定ムル所ニ依リ市場ノ會員トナルコトヲ得

第五條 市場ニ於テ他人ノ爲ニ賣買ヲ爲シ若ハ其ノ媒介ヲ爲スヲ業トスルコトヲ得ル者ハ仲立人ニ限ル

仲立人ニ必要ナル資格ハ規約ノ定ムル所ニ依ル

第六條 市場ニハ一人若ハ數人ノ管理者ヲ置クヘシ

市場管理者ハ規約ノ定ムル所ニ依リテ之ヲ選定シ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 市場ニ於テハ賣買ノ當時其ノ市場及規約ニ於テ定メタル區域内ニ在ル物件ノ外之ヲ賣買スルコトヲ得ス

第八條 市場ニ於テ賣買シタル物件ハ代品ヲ以テ受渡ヲ爲スコトヲ得ス受渡ハ賣買ノ翌日ヲ超ヘサル期間ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

市場ニ於テ爲シタル賣買ニ付テハ相殺ヲ以テ之ヲ結了シ又ハ解約ヲ爲スコトヲ得ス

第九條 市場管理者ハ規約ノ定ムル所ニ依リ受渡品ノ検査ヲ爲スコトヲ得第十條 市場管理者ハ其ノ設立及維持ノ費用ニ充ツル爲會員及賣買當事者

ヨリ使用料並手数料ヲ徵收スルコトヲ得其ノ徵收方法及徵收率ハ規約ノ定ムル所ニ依ル

第十一條 市場管理者ハ市場ニ於ケル賣買ニ關シ賣買當事者ノ爲代金ノ取立仕拂其ノ他計算ヲ爲スコトヲ得

第十二條 市場管理者ハ其ノ規約ノ定ムル所ニ依リ賣買ニ關シ會員及仲立人ニ對シ身元保證金ヲ供託セシムルコトヲ得

第十三條 市場管理者ハ規約ノ定ムル所ニ依リ違約者ニ對シ賣買ヲ停止シ又ハ五百圓以内ノ過怠金ヲ課シ又ハ除名スルコトヲ得

第十四條 行政官廳ハ市場管理者ニ對シ物件ノ公定相場ヲ定メ之カ公示ヲ命スルコトヲ得

第十五條 行政官廳ハ官吏ヲシテ市場ニ臨檢セシメ帳簿建物其ノ他物件並會員又ハ仲立人ノ營業帳簿ヲ検査セシムルコトヲ得

第十六條 市場ニハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ物件検査ノ爲必要ナル設備ヲ爲スコトヲ要ス

第十七條 行政官廳ハ市場ノ位置構造設備及規約ノ變更ヲ命シ又ハ賣買物

件ヲ制限スルコトヲ得

前項ノ外行政官廳ハ市場ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十八條 第十五條及第十七條第二項ノ規定ハ市場附屬ノ倉庫業ヲ營ム者ニ對シ之ヲ準用ス

衛生上危害ヲ生スルノ虞アル商品ニ關シテハ明治三十三年法律第十五號第一條、第二條ヲ準用ス

第十九條 行政官廳ハ市場創立者管理者會員又ハ仲立人ノ行爲法令ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ又ハ行政官廳ノ命シタル事項ヲ執行セサルトキハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 市場ノ設立免許又ハ認可ノ取消

二 市場ノ業務ノ停止

三 賣買物件一部ノ禁止

四 決議又ハ處分ノ停止禁止若ハ取消

五 市場管理者ノ解職

六 會員又ハ仲立人ノ賣買停止若ハ除名

第二十條 市場ノ廢止ハ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第二十一條 行政官廳ハ必要ト認ムルトキハ市場ニ於テ賣買スル物件ニ付

市場外ニ於ケル賣買ヲ停止若ハ禁止スルコトヲ得

第二十二條 第二條ニ違反シタル者ハ百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十三條 仲立人ニ非スシテ仲立人ノ營業ヲ爲シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十一條ニ依リ停止若ハ禁止セラレタル物件ヲ賣買シタル者亦同シ

第二十四條 第七條又ハ第八條ニ違反シタル者ハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十五條 第十四條ノ命令ヲ拒ミ又ハ公定相場ヲ偽リ又ハ第十五條ノ檢

査ヲ拒ミ又ハ第十六條ニ違反シタル者ハ五十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條 營業者カ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ營業者ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付

テハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出サルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得

第二十八條 明治三十三年法律第五十二號ノ規定ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

第二十九條 本法ハ產牛馬組合法ニ依リ設立シタル組合ノ市場ニ之ヲ適用セス

第三十條 市場ニ於ケル物件賣買ヲ業ト爲ササル者ノ市場ニ於ケル賣買ニ付テハ第八條乃至第十一條ヲ適用セス

附則

第三十一條 行政官廳ハ地方ノ狀況ニ依リ區域ヲ限リ本法ヲ適用セサルコトヲ得

第三十二條 本法施行ノ日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十三條 本法施行前ニ行政官廳ノ認可ヲ得テ設立シタル市場ハ本法施行ノ日ヨリ三箇年間ハ本法ニ依リ免許セラレタルモノト看做ス但シ本法ノ規定ニ從ヒ規約ヲ定メ命令ノ定ムル期日迄ニ行政官廳ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス此ノ期日ヲ經ルモ仍認可ヲ申請セサルトキハ免許ノ效力ヲ失フ

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質問モ無イヤウデアリマスカラ次ノ議事日程ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十一、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、此特別委員モ議長ガ選定ヲ致シテ御異存ゴザイマセスカ

「異議ナシ」ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十二、明治三十七年度歳入歳出總決算並明治三十七年度各特別會計歳入歳出決算並政決議案四件、會議、委員長報告
明治三十七年度歳入歳出總決算並明治三十七年度各特別會計歳入歳出決算

及既往年度檢査未確定ニ屬セシモノヲ審査シ

明治三十七年度歳入歳出總決算中(一)内務省所管歳出臨時部第十五款災害費第三項朽木縣水害土木費補助(二)大藏省所管歳出臨時部第二十款貸付金第一項貸付金(三)文部省所管歳出臨時部第十九款臨時編書費第一項臨時編書費

明治三十七年度各特別會計歳入歳出決算中内務省所管臺灣總督府歳出臨時部第十四款基隆築港維持費第一項事務費第二項工作及建物費

右ハ別紙議決案ノ通議決ス

煙草專賣法ニ反シ内國產葉煙草ヲ買上ケ國庫債券ヲ發行シタル件
右ハ内國產葉煙草ヲ買上ケ國庫債券ヲ發行シタルモノニシテ煙草專賣法ニ依リ此ノ處分ヲナシ得ヘキハ唯外國產葉煙草ノ買上ケヲナス場合ニ限レルニ拘ラス政府力之ヲ内國產葉煙草ニ適用シタルハ法律ニ違背セル不當ノ處置ナリト雖當時ノ事情已ムヲ得サルモノアルヲ以テ決議案ヲ提出スルノ必要ナシト認ムト議決ス

明治三十七年度各特別會計歳入歳出決算中文部省所管歳出臨時部第四款福岡醫科大學第一項俸給及雜給

右ハ第二豫備金及國庫剩餘金ヨリ七千六百餘圓ノ補足費ヲ要求シナカラ年度末ニ至リ僅ニ三十三圓餘ノ一部分ヲ支出スルニ過キサリシハ教官任用ノ豫定ヨリ後レタルカ爲ナリト稱スト雖當初ノ詮議ニ於テ慎重ノ調査ヲ缺キタル結果ニシテ將來ノ注意ヲ促スノ必要アリト認ムト議決ス
其ノ他總テ異議ナシ依テ及報告候也

明治四十年三月二十三日

決算委員長

伯爵柳原義光

貴族院議長公爵德川家達殿

決議案

貴族院ハ明治三十七年度歳入歳出總決算中内務省所管歳出臨時部第十五款災害費第三項朽木縣水害土木費補助ハ豫算ノ見積粗漏ニシテ多額ノ剩餘金ヲ生シ而シテ排水器補償ノ名ヲ以テ谷中村ニ係レル債務ヲ辨償シタルハ不當ノ處置ナリト議決ス

決議案

貴族院ハ明治三十七年度歳入歳出總決算中大藏省所管歳出臨時部第二十款貸付金第一項貸付金ニ於テ政府力株式會社百三十銀行ニ對シ六百萬圓ノ貸付ヲナシタル件ハ軍國ノ際已ムヲ得サルニ出ルト雖戰時ノ財政ノ爲ニ公債ヲ増發セル時ニ當リ一私立銀行ニ對シ年利二歩ノ低利ヲ以テ斯ル鉅額ノ貸付ヲナシタルハ不當ノ處置ナリト議決ス

決議案

貴族院ハ明治三十七年度歳入歳出總決算中文部省所管歳出臨時部第十九款臨時編書費第一項臨時編書費ハ明治三十六年度歳入歳出總豫算追加案中帝國議會ニ於テ否決シタル文部省所管第一款ノ費目ト同一旨趣ノ費途ニ支出シタルモノニシテ不當ノ處置ナリト議決ス

決議案

貴族院ハ明治三十七年度各特別會計歳入歳出決算中内務省所管臺灣總督府歳出臨時部第十四款基隆築港維持費第一項事務費第二項工作及建物費ハ明治三十六年度各特別會計歳入歳出豫算追加案中帝國議會ニ於テ否決シタル内務省所管臺灣總督府歳出臨時部第一款第二項ノ費目ト同一趣旨ノ費途ニ支出シタルモノニシテ不當ノ處置ナリト議決ス

〔伯爵柳原義光君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳原義光君 唯今議題トナツテ居リマスル決算委員會ノ報告ニ基キマシテ一應説明ヲ申上ゲマス、決算委員會ハ總會ハ詰リ四タビ開イタルデゴザイマシテ、一月二十一日ニ第一回ヲ開イタル、此時ニハ單ニ正副委員長ノ選舉ダケニ止メテ置イタルデゴザイマス、第二回ハ二月二十五日ニ開キマシテ、此時ハ各分科ノ審査期限ヲ定メマシテ審査ノ期限ヲ三月十五日マデト云フコトニ決メマシテ散會後、各分科ニ於キマシテ主査ノ互選ガアツタノデゴザイマス、ソレカラ第三回ヲ三月十四日ニ開キマシテ、是ハ前申上ゲタ通り審査ノ期限ハ三月十五日マデデアリマシタルデゴザイマスルガ、或ル分科ニ於キマシテハ、モウ少シ嚴密ニ審査ヲシテ見タイカラ期限ヲ延バシテ吳レト云フ請求ニ依リマシテ、總會ヲ開キマシテ三月二十一日マデ期限ヲ延バシマシテゴザイマス、ソレカラ第四回ノ總會ヲ三月二十三日ニ開キマシテ、此時ニ

ハ各分科ノ主査ノ報告、及其報告ニ基イテ討議ヲ開ハシテ審議ヲ致シタノデ
ゴザイマシテ、午前ヨリ午後ニ互ッテ會議ヲ開イテ、此會議ヲ以テ完了ヲ告
グタノデアリマス、御手許へ報告書ヲ差出シテ置キマシタ如ク、報告ノ件數
ハ六件デアリマシテ、其中、四件ガ決議案デ、二件ガ議決ノ御報告ヲ申上ゲ
ルト云フコトデゴザイマス、ソレデ今此大體ヲ説明申ス前ニ當テ申上ゲマス
コトガゴザイマスガ、ソレハ第四回ノ總會ガ終リマシテカラ、委員ノ一人ノ
澤原君カラ斯ウ云フ希望ガ出タノデアリマス、ソレハドウモ此政府ガ決算ヲ
提出サレル所ノ時機ガ遅クテ誠ニ困ル、本年ノ如キモ會期ノ半バヲ經過シテ
仕舞ッテカラ決算ガ提出ニナッタノデ、之ヲ嚴密ニ審査スルニハ時日ガ誠ニ少
イ、ノミナラズ段々會期ノ末ニナッテ來レバ各種ノ委員會モ數ガ多イ爲ニ、
決算委員ノ中デモ他ノ委員會ニ出席スル人モ多イヤウナ譯デ、ドウモ嚴密ニ
調べルコトガ出來ナイカラシテ、旁以テ決算ハ成ルベク早く出シテ貰ヒタ
イト云フコトヲ本委員長カラ政府ニ一應申シテ置イテ吳レト云フ請求ガ出
タノデアリマス、是ハ本委員長ハ無論ノコト、委員ノ中ニモ異議ノ無イコト
デアリマシタニ依ッテ其事ヲ政府ニ一應...詳細ニ互ッテ説明ヲスル前ニ成
ルベク來年カラ決算ヲ早く出シテ欲シイト云フコトノ希望ヲ政府ニ向ッテ申
シテ置キマス、是ヨリ此報告書ニ基キマシテ説明ヲ申上ゲマス、ソレデ第一
ハ内務省所管歲出臨時部第十五款災害費、第三項栃木縣水害土木費補助ノ項
デアリマス、是ハ御手許ニモゴザイマス通り決議案ヲ出シテ置イタノデ、一應
此事件ノ成行キヲ一ト通り説明ニ及ビマス、デ是ハ栃木縣災害土木費施行費
七十五萬七千四百七十三圓、其中四十八萬五千三百九十八圓ト云フモノハ谷
中村ノ瀧留池施設費デ二十七萬二千圓ハ他ノ土木費デアリマス、總計前申上
ゲマシタ七十五萬七千四百七十三圓ニ對シテ國庫カラ金二十二萬圓ヲ補助シ
タト云フコトノ事件ナノデゴザイマス、ソレデ段々政府委員ニ就イテ尋ネマ
シタ所ガ、此栃木縣ノ谷中村ナルモノハ餘ホド低イ土地デアッテ四面、川ヲ
以テ、或ハ沼ヲ以テ取り圍マレテ居ルガ爲ニ少シノ洪水ガアルト、イツデモ
堤防ガ破レテ其谷中村ノ全體ハ水ノ中ニ埋マッテ到底イクラ手ヲ入レテ見テ
モ好イ結果ヲ得ルコトガ出來マセヌ爲ニ、寧ロ此ノ低イ土地全體ヲ買収シテ
サウシテ其所ニ洪水ノ瀧水池、即チ水溜リヲ拵ヘテ、其所ニ住ッテ居ル人民
ハ他ニ移轉セシムル所ノ救済策ヲ立テタ方ガ宜イト云フノデ、ソコデ經畫ヲ
立テテ土地買収ニ二十七萬九千餘圓、家屋補償費ニ十五萬圓、桑樹補償費ニ

萬二千餘圓、ソレカラ社寺地補償費四千餘圓、排水器補償費一萬圓、其他一
萬餘圓、合計四十八萬五千餘圓ト云フ見積リヲ立テタノデアリマス、其外ニ
二十七萬二千餘圓ハ前ニ申上ゲマシタ通り他ノ水害土木費ニ屬スルモノデア
リマス、然ルニ之ヲ實施スルニ際シマシテ、耕作物ニ於テ二萬餘圓、樋門ニ
於テ八千餘圓等ノ増額ヲ來タシマシタケレドモ、家屋ノ總豫定數一萬八千七
百餘坪ト云フモノガ、是ハ八千九百餘坪ニ減リマシタ、ソレガ爲ニ五萬七千
餘圓ト云フモノハ餘ッテ參リマシテ、桑樹ノ豫定株數六十四萬二千餘株ガ一
萬二千餘株ニ減ジタ爲ニ金ニ積ッテ三萬千餘圓ニナリマシタ、社寺地ハモト
官有地デアリマスガ爲ニ、村中ノ者ガ殘ラズ舉ッテ移轉ヲスルトキニハ他ニ
代ハルベキ土地ノ必要ガナイ爲ニ四千餘圓等、少カラザル剩餘金ヲ生ズル見
込ヲ以テマシテ、其大部分ヲ排水器ノ補償費ニ増額スルコトニ致シマシテ、
當初一萬圓ノ見積額ニ對シテ七萬五千圓ヲ補償スルト云フ契約ヲシタノデア
リマス、然レドモ右申上ゲマシタ排水器ハ其實況ニ徴シテ見マスト、初メノ
見積額以上ノ價格ヲ要シナイモノデアアルニ拘ラズ斯ノ如キ補償ヲ爲シタル譯
ハ、家屋桑樹等ノ見積額非常ニ餘計ニシタガ爲ニ豫算ニ剩餘ヲ生ジタノデア
リマシテ、サウシテ其剩餘ヲ生ジタ金ヲ以テ、從來谷中村ニカカッテ居ッテ債
務ヲ處理辨濟スルガ爲ニ名ヲ排水器補償ニ假リマシテ、サウシテ多額ノ支出
ヲシタノデアリマス、是ハ委員會ニ於テ本件ハ過當ノ補助金ヲ交付シタル不
當ノ處置デアアルト云フ決議案ヲ出シタ所以デアリマス、ソレデ谷中村ノ債務
ト申シマスノハ排水器ノ設備ヲスルトキ、明治二十七年ニ安生某ナル者ヨリ
四萬二千餘圓ヲ借入レタ金ノ辨濟方法トシテ、右排水カラ利益ヲ生ズベキ所
ノ土地カラ產出スル所ノ玄米ヲ五箇年ノ割デ辨濟ヲスルト云フ方法ヲ立テタ
ノデアリマス、然ル所、豫期ノ如ク排水ガ出來ナカッタ爲ニ元利累積シテ非
常ノ巨額ノ借錢ニナッタノデアリマス、ソレカラ又一方ニ於テ谷中村ハ三十
一年ノ十一月ニ日本勸業銀行カラ五萬圓ノ金ヲ借リタノデアリマス、其大部
分ハ安生某ニ預ケマシタケレドモ、同人ハ之ヲ返サナイノデアリマス、ソレガ
爲ニ安生某ノ一方ニ於ケル債權、他ノ方ニ於ケル債務、此債權債務ノ關係ガ
非常ニ複雑ニナッテ、詰リ三十年ノ十月ニ至ッテ栃木縣知事ガ調停シテ、安生
ナル者ノ債權ヲ七萬五千圓ニ減少セシメテ、サウシテ排水器補償費ヲ以テ之
ニ充テマシテ、同人ノ預ッテ居ッタ金ハ一先ヅ谷中村ニ戻サシメテ、サウシテ
勸業銀行ニ對スル債務ヲ返サシタノデアリマス、ソコデ政府ノ辯明ハ谷中村

ノ灌溜池施設ノ當時ハ池ノ中ニ殘タ水ガ漲ツテ居タ爲ニ精密ニ調査ヲスル
コトガ出來ナイ、ソレデ無論、排水器補償費七萬五千圓ト云フモノハ、其
物ノ價ニ比スレバ高イケレドモ土地所有者ガ起業者トナツテ、サウシテ安生
某ニ工事ヲ託シテ五箇年ニ辨償スベキ契約ヲ爲シタルガ爲ニ排水器ノ補償金
額ハ之ヲ標準トシナケレバナラヌト云フ、政府ノ辯明デアッタノデアリマス
ル、併ナガラ決算委員會ニ於テハ審議ノ結果、此辯明ヲ認メズシテ茲ニ決議
案ニゴザリマスル通りノ決議ヲ致シタ譯デアリマスル、決議案ハ印刷ニナツ
居リマスルカラ朗讀ヲ省キマス、ソレカラ其次ハ大藏省所管歲出臨時部第二
十款貸付金、第一項貸付金デアリマスル、是モ御存ジノ如ク茲ニ決議案ガ出
テ居ルノデアリマス、一ト通り之ニ付イテ説明ヲ申上ゲマスルガ、是ハ
皆サンガ能ク御存ジノ如ク、大阪ノ百三十銀行ニ日本銀行ヲ經由シテ政
府ハ僅カ年利二分デ五箇年据置キ五箇年賦デ辨償ノ契約ニテ六百萬圓
ヲ貸付ケタ彼ノ名高イ謂ハユル百三十問題ナルモノデアリマスル、デ其理由
ヲ一ト通り申上ゲマスルト、百三十銀行ノ資本金ハ三百二十五萬圓、積立金
ガ五十一萬圓餘、ソレカラ預金ガ千四百十五萬ヲ有スル關西ノ相當ノ銀行デ
アツテ、本店ハ無論大阪デアツテ其以外ニ大阪、京都、福井、舞鶴、福岡、小
倉等ニ二十四箇所モ支店ヲ有ツテ居リマスル銀行デアリマシテ、頭取ハ松本重
太郎ナル者デアリマス、此銀行ハ日清戰役ノ後カラシテ、其銀行ノ事業ガ段
々ドウモ其度ヲ超エテ、手廣ニナリ過ギマシテ、當時日本紡績株式會社ニ過
當ノ信用ヲ與ヘマシテ、ソレガ爲ニ俄ニ百萬圓ホドノ損失ヲ致シマシテ、漸
ク其銀行ガ窮境ニ際シテ居ッタノデアリマス、然ル所、三十七年ノ四月、日
露戰爭ノ時局關係上、之ヲ救済スル所ノ必要ヲ政府ガ認メマシテ、ソコデ政
府ガ日本銀行ニ對シテ百萬圓ヲ限度トシテ、限リトシテ融通ヲ與ヘテ遣レ
ト云フコトヲ政府ガ命ジタノデアリマス、所ガ百萬圓グラヲ以テ未ダ此銀
行ノ否運ヲ挽回スルコトガ出來マセヌ爲ニ、遂ニ同年ノ六月十七日、即チ第二
回國庫債券募集締切ノ翌日、此銀行ガ臨時ニ休業ヲシタノデアリマス、ソレ
デ此銀行ノ營業區域ハ頗ル廣大デアリマスル爲ニ、一朝此銀行ガ破産ヲスル
コトニナルト、影響ハ頗ル大デアアル、ソレガ爲ニ金融界ニ恐慌ヲ來タスノハ
無論ノコトデアアルシ、内外債ノ募集ニモ困難ヲ生ジテ、延イテ平和克復ノ時
機ヲ遅カラシメ經濟界ヲ攪亂スルノ虞ガアツタト認メタサウデ、然ラバ此銀
行ノ存廢ト云フコトハ當ニ松本重太郎ナル者ノ頭取ヲシテ居ル所ノ一銀行ノ

存廢ニ止マラズシテ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ是ハ全ク國家ノ問題デアアル、國家
ノ大問題デアアルト政府ハ信ジマシタサウデアリマシテ、更ニ六百萬圓ヲ第二
豫備金及國庫剩餘金ノ内カラ支出シテ、サウシテ其銀行ニ貸付ケタノデアリ
マス、勿論之ヲ貸付クルトキニハ其中ニハ民間ノ金持安田善次郎ナル者ヲ介
シマシテ、其安田善次郎ナル者ノ經濟界ニ於ケル信用ニ依ツテ此銀行ヲ託ス
ト云フ方法デアッタノデアリマス、ソレデ是ハ分科會ノトキニモ大藏大臣……
其當時ノ大藏次官デアッタ所ノ阪谷君モ見エラレマシテ、直接ニ其當時此事
柄ニ當ツテ能ク承知シテ居ラレルガ爲ニ、委シク其内情ニマデ立入ツテ説明モ
アリ、又當時ノ事情モ詳細ニ話サレタノデアリマスル、阪谷君ガ言ハ
レルニハ、何分其時ニハ戰デアッタ爲ニ、ドウモ其平時ノトキト同ジ考ヲ
以テ斯ウ云フ問題ヲ解決シテ貰ツテハ困ル、言フマデモナク戰ニハ三ツノ
要素ガアル、其三ツハ外交ト財政ト軍事ト此三ツノ要素ガ完全ニ備ハツ
テ完全ニ働クニアラザレバ有終ノ美ヲ爲スコトハ出來ヌカラシテ、先ヅドウ
シテモ此財政ト云フコトニ重キヲ置イテ、財政ノ心配ノ無イヤウニ當局ノ大
臣ガ責任ヲ有ツテヤラナケレバナラヌ、然ルニ若シ此銀行ガ一朝破産デモス
ルト云フヤウナコトニデモナツタナラバ、外ハ外國ニ對シテ左ラヌダニ風聲
鶴唳ニ驚イテ居ル、驚カサレテ居ル日本ノ財政ノ信用ヲ薄カラシメ、又內國
ニ於テハ金融ノ逼迫ヲ來タシ、金融界ノ總テノ秩序ヲ紊亂スルト云フヤウナ
コトデハ誠ニ困ル現象ニ立至ルデアラウ、ソレカラ又一方ニ於テハ出征ヲシ
テ居ル所ノ軍人ヲシテ矢張り內顧ノ憂ヲ懷カシムルコトデアルカラシテ、旁
以テ此財政ニ對スル方略ト云フモノモ手堅クヤラナケレバナラヌ、ソレデ殊
ニ此銀行ノ小倉福岡ナドニアル支店ニハ出征軍人ガ戰ニ出カケル前ニ、モウ
ドウモ自分タチハ死ヌルノデアアルカラト云フノデ、邸宅ナドヲ賣却シテ其金
ヲ預ケテ行ツタ、其金モ多額ニ預カテ居ルヤウナ次第デアルカラシテ、若シ
是等ノ金ヲモ引出スコトガ出來ナイト云フヤウナ場合ニナツタナラバ、出征
軍人ヲシテ頗ル不快ナ念ヲ起サシメ、延イテハドウ云フ結果ヲ來タスモ分ラ
ヌカラシテ、旁、以テ其問題ニ對シテハ重大ナル國家問題ト認メテ、ソレデ
焦眉ノ急ヲ救フ手段トシテ前申上ゲタヤウナ次第救済ヲシタト云フ、一應
大藏大臣ノ辯明モアッタノデアリマス、然レドモ段々審查ヲ致シマシタ所、此
銀行ガ否運ニ際シタト云フコトハ突然ノコトデハ無イノデアツテ實ハ前カラ
是ハ分ツテ居ッタコトデアリマス、サウシテ又其原因ハ經濟界ノ變調ニ起因シ

タノデナクテ、重役或ハ其他ノ者ガ關係ノアル所ノ會社事業等ニ對シテ、過當ノ融通ヲ與ヘテ、サウシテ銀行者トシテ營業ノ方法ヲ誤ッタ爲ニ、斯ル結果ヲ見タノデアリマスル、其上ニ又一方ニ於テハ年利六分以上ニモ當ル所ノ國債ヲ募集シテ居ル際ニ於テ、一私立銀行ヲ救済セムガ爲ニ年利二分ト云フヤウナ低利ノ金デ六百萬圓ノ巨額ノ金ヲ支出シタノハ不當デアルト云フコトヲ委員會ニ於テハ認メタノデアリマス、單ニ是ハ又既往ノミナラズ萬一將來ニ於テハ尤モ斯ウ云フコトガ二度モ三度モアッテハ大變デアリマスケレドモ、萬一將來ニ於テ如何ナル事情ノアル場合ト雖モ、斯ノ如キコトハ最モ慎重ナケレバナラヌカラシテ、旁々之ヲ重ク見テ不當ノ決議案ヲ出シテ置イタ方ガ宜イト云フ委員會ノ多數ノ意思デアリマシテ、茲ニゴザイマスル通りノ決議案ヲ提出シタ次第デアリマスル、其次ハ文部省所管歲出臨時部第十九款臨時編書費、第一項臨時編書費デアリマス、是ハ明治三十六年度歲入歲出總豫算追加案中、帝國議會ニ於テ否決イタシマシタ文部省所管第一款ノ費目ト同一ノ旨趣ノ費途ニ支出イタシタモノデアリマスルカラシテ、豫算デ否決ヲ致シタモノヲ同ジ旨趣ノ費途ニ支出シタト云フノハ是ハ不當デアルト云フコトハ言フマデモナイ話デアリマス、ソレガ故ニ是ハ不當デアルト云フ決議ヲシタノデアリマス、ソレカラ其次ハ内務省所管臺灣總督府歲出臨時部第十四款基隆築港維持費、第一項事務費、第二項工作及建物費デアリマス、是モ御手許ニ差出シタル所ノ印刷物ニゴザイマスル通り、決議案ト致シタルノデアリマス、デ此第一項事務費四萬五千四百八十四圓餘、第二項工作及建物費十七萬五千七百五圓餘ト云フモノハ三十六年度各特別會計歲入歲出豫算追加案中、帝國議會ニ於テ否決ヲ致シタル所ノ内務省所管臺灣總督府歲出臨時部第一款第二項ノ費目ト同一趣旨ノ費途ニ支出ヲ致シタモノデアリマシテ、是モ此前ノ問題ト同ジク既ニ豫算ニ於テ否決シタモノデアリマスカラ、不當ノ處置デアルト云フ議決ヲ致シタノデアリマス、是ハ理由ハ極メテ簡單ナ理由ナノデアリマス、決議案ハ前申上ゲマシタ此四ツデアリマスルガ、其外ニ議決ヲ致シタコトガアリマスカラシテ、其議決ノ御報告ヲ申上ゲマス、ソレハ一ハ煙草專賣法ニ反シ内國產葉煙草ヲ買上ゲ國庫債券ヲ發行シタル件デアリマス、是ハ決議案ヲ提出スルノ必要ナシト云フ議決ヲ委員會ニ於テ致シタノデアリマス、此理由ヲ簡單ニ申上ゲマスルガ、全體、葉煙草專賣法第七十二條ノ但書ニ買上ゲヲ爲スコトヲ得ルノハ外國產ノ葉煙草ニ限定シテアリマスケレド

モ、其法ノ精神ハ營業權喪失ノ爲ニ不流通ニ歸シタル葉煙草ノ處分ノ便宜ヲ圖ルノガ、其法ノ精神デアッテ、當時、卷煙草製造業者ノ從事シテ居、タ所ノ内地產ノ葉煙草ハ品質ガ優等デアッテ刻煙草製造業者ニ之ヲ讓渡サウトシテモ應ズル者ナク、ソレデ品位性質等ガ外國產ノ葉煙草ニ準ズベキモノデアルト認メタノミナラズ、此卷煙草製造開始ノ準備ヲ爲スニ當ッテ事業經營上ノ便宜ト云フコトヲ圖リマシテ、ソレデ法律違反デアリマスケレドモ、此條項ヲ準用シテ之ガ買上ヲ爲シテ煙草專賣法八十九條ニ依ッテ國庫債券ヲ發行シタト云フノガ是ノ内容ナノデアリマス、デ會計検査院ハ專賣法七十二條ノ但書ハ明ニ買上ゲヲ爲スベキ葉煙草ヲ外國產ニ限ッテアッテ、サウシテ同法ノ八十九條ニ依ッテ其買上金ニ充テル爲ニ國庫債券ヲ發行スルコトヲ得ト出來テ居ルノデアッテ、政府ノ處置ハ法律違反タルヲ免レスト云フ見解ヲ以チマシテ、會計検査院ハ不當ト致シテ居ルノデアリマス、然レドモ本院ノ決算委員會ニ於キマシテハ此會計検査院ノ見解ト考ヲ異ニ致シマシテ、當時ノ事情誠ニ已ムヲ得ナイコトデアルカラシテ、決議案ヲ提出スルノ必要ハ無いモノデアルト云フ議決ヲ致シタノデアリマス、チヨット是ハ御説明申上ゲテ置キマス、ソレカラモウ一ツ、ソレニ能ク似テ唯ダ議決ト云フ報告ヲ致シテアリマスノハ、明治三十七年度各特別會計歲入歲出決算中文部省所管歲出臨時部第四款福岡醫科大學、第一項俸給及雜給、コレデアリマス、是ハ第二豫備金及國庫剩餘金ノ中カラ七千六百餘圓ノ補足費ヲ要求シナガラ、年度末ニ至リ僅ニ三十三圓餘ノ一小部分ノ支出ヲシタノニ過ギヌノハ、ドウモ是ハ初メカラノ詮議ニ於テ慎重ニ事ヲ調べタモノデナイ、即チ輕卒ニ調べタト申スヨリ外ニ仕様が無いガ爲ニ、兎ニ角、此慎重ノ調査ヲ缺イタト云フ結果、將來ニ注意ヲ促スノ必要アリト認ムト云フ議決ヲ致シタノデアリマス、御報告ヲ申上ゲマスルコトハ此六件ニ過ギヌノデアリマス、デ尙ホ之ニ對シマシテ御質問等モゴザイマスレバ、各分科ノ主査ノ方カラ答辯モ致サレルデゴザイマセウシ、又之ニ對スル辯明等ハ勿論政府委員ニ於テ致サレルコトト思ヒマスカラ、本員ハ此報告ヲ以テ此壇ヲ退キマス

○伯爵廣澤金次郎君 私ハ内務省ノ政府委員及文部省ノ政府委員ニ質問ガアリマスルガ、其前ニ一言此決算ニ就イテ述ベテ置キタイト考ヘマスルガ、ドウモ政府ハ決算ニ重キヲ置カレヌヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、今委員長カラノ注意ガアリマシタ如ク、今年ノ如キハ決算ノ提出ハ殆ド議會ノ半期ヲ終

ッテカラ提出ヲサレタノデアリマス、併ナガラ私等ノ聞ク所ニ依ルト、検査院ハ昨年ノ十一月ニ検査ヲ終了シテ上奏ニナッテ居ルト思ヒマス、昨年ノ十一月ニ終了シタモノヲ三月ニ至ッテ議會ニ提出ニナルト云フノハ、決算ニ重キヲ置カレヌト云フ證據ダラウト思ヒマス、且又私ハ本年ハ決算ノ委員デハアリマセヌガ、昨年マデハ三四回繼續シテ決算委員ニナッテ居リマシタガ、其時々ノ決算ノ決議ニナリマシタ事項ヲ政府ハ是又少シモ重ジテ居ラヌヤウニ考ヘマス、例ヘテ見マスレバ營繕費ノ中カラ新營ヲスルト云フヤウナコトハ、會計法違反ト云フコトデ、度々政府ノ注意ヲ促シタコトモアリマスルシ、又隨意契約ノ點ニ於テモ政府ノ注意ヲ促シタコトガアル、併ナガラ是ガ又、年々歳々検査院ノ方カラハ同ジ趣意ノ報告ガ來ルノデアリマス、サウ云フ點ニ於テ政府ハ決算ニ重キヲ置カヌト考ヘルノデアリマス、付キマシテハドウゾ將來ニ於テハ本院ノ決議ハ十分重シラレマシテ相當ノ反省アラムコトヲ希望イタシマス、付キマシテハ本員ノ質問スルノハ此決議案ニアリマスル第三ノ文部省ノ臨時編書費ト、ソレカラモウ一ツハ第四ノ基隆築港費、是ハ三十六年度ニモ同様ノ不當決議ヲシテアリマスガ、之ニ付イテ政府ハ如何ナル處分ヲサレタカ、内務省ノ政府委員及文部省ノ政府委員ヨリ委シク御辯明アラムコトヲ希望イタシマス

〔政府委員松村茂助君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松村茂助君) 臨時編書費ヲ支出シタノハ、決シテ三十六年度ノ追加豫算ニ掲ゲテアッタ所ノ費用ニ對シテ支出シタノデアリマセヌ、當時御承知ノ通り教科書事件ナルモノガアリマシテ、大分、小學校ノ教科書ヲ發行シテ居ル書肆ト云フモノガ刑辟ニ觸レルコトニナリマシタ、其結果ト致シマシテ是等ノ犯罪ヲ致シタ者ノ發行スル所ノ圖書ト云フモノハ發行ヲ續ケルコトガ出來ナイ、隨ッテ學校ハ開イテ生徒ハ學校ニ就學スルモ其教科書ヲ得ルニ由ナイト云フ場合ニ相成リマシタ、ソレデアリマスカラ、已ムヲ得ズ其急ニ應ズル爲ニ編書費ヲ支出シタノデアリマスカラシテ、決シテ初メ三十六年度ノ追加豫算トシテ提出シタ所ノモノト同一ノモノニハアラズト云フ見解デアリマス、隨ッテ政府ハ其必要ニ應ズル爲ニ此支出ヲシタノデアリマスルカラ、敢テ當局者ニ於テハ何等ノ過失モ無イモノト今日マデ考ヘテ居ルノデアリマス

○伯爵廣澤金次郎君 今ノ文部省ノ政府委員ノ御説明ニ依リマスルト、昨年

ノ本院ニ於キマスル決算ノ決議モ、アレハ認メヌト云フ御説ニ承リマスガ、左様心得テ宜シウゴザイマスカ

〔政府委員松村茂助君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松村茂助君) 政府ニ於キマシテハ、ドコマデモサウ云フ支出ヲシタノデアリマスルカラシテ、決シテ不當ノ支出デ無イト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

〔政府委員峽謙齋君演壇ニ登ル〕

○政府委員(峽謙齋君) 唯今此臺灣總督府ノ支出ニ係リマスル基隆築港ニ付イテノ御質問ニ御答ヲ致シマス、基隆築港費ハ三十五年度ニ於キマシテ、第一期ノ經畫ノ仕拂ヲ終ハリマシタ、サウシテ此三十五年度ノ臨時議會ニ於キマシテ、更ニ第二期ノ經畫ヲ要求イタシマシタガ、是ハ通常ノ議會ニ於テ要求スベキモノデ、臨時議會ニ於テ要求スベキモノデナイト云フ趣意ヲ以テ衆議院デ此追加要求ヲ容レナカッタノデアリマス、ソコデ基隆築港ノ狀態ハドウナリマスカト云フト、其年度ニ此方ノ維持費ヲ豫備金ノ豫算外支出デ維持セヌト浚渫船ノ如キハ全ク腐蝕シテ用ヲ爲サヌヤウニナリマス、百萬圓餘全ク損失ニ歸スルト云フヤウナ有様デ、豫算外支出ヲ致シマシタ、サウシテ其翌年ニ更ニ第二期ノ經畫ヲ要求イタシマシタガ、此年度モ不幸ニシテ議會ノ解散ニ遭ッテ遂ニ豫算ハ不成立ニナッタヤウナ次第デ、其時モ亦再ビ豫算外支出ヲ維持イタサネバナラヌト云フヤウナ有様ニ陥リマシタ、依ッテ豫算外支出ノ結果トシテ其後ノ議會ニ承諾ヲ求メマシタガ、是ハ遂ニ衆議院デ承諾セヌト云フコトニ決セラレテ、サウシテ貴族院ノ方ニハ、ソレヲ削ッテ御同シニナッテ、貴族院ノ問題ニハナラナカッタト云フ有様ニナッタ譯デアリマス、依ッテ今年度ノ決算ニ表ハレテ居リマスルデ、前年度ノ決算ニ表ハレテ居リマスノハ、其豫算ハ事後承諾ヲ得ナカッタ爲ニ不當デアルト云フ趣意デ、不當ノ御決議ニナリマシタ趣意デアリマス、其豫算ニ於キマシテノ豫算外支出ヲ爲シマシタト云フコトハ、其當時已ムヲ得ヌト云フコトヲ認メテ政府ハ支出ヲ致シマシタ、決算ニ付キマシテハ、既ニ豫算ガ斯ノ如ク豫算外ノ支出ニナッタ結果ノ支出仕拂デアルカラ、決算ニ付イテハ不當ノ御決議ニナリマシタガ、是ハ單ニ其豫算ノ承諾ヲ經ナカッタ結果、サウナッタノデアリマス、其當時ノ趣意ヲ奉ジテ實行シテ居リマス次第デアリマス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 唯今、決算委員長カラ御報告ニナリマシタ、百三十銀行ノ貸付金ノコトニ付キマシテ不當ナリト云フ御報告ガゴザイマシタ、此問題ハ事件ノ重大ナルニ拘ラズ未ダ政府カラシテ貴族院ニ向ッテ御説明申上ゲル場合ニ至ッテ居リマセナンダ、一應此際事情ヲ申上ゲテ置タト云フコトガ相當ノ順序デアラウト信ジマス、分科會ニ於キマシテハ秘密會議ヲ開カレマシテ、政府ヨリ當時ノ事情ヲ詳細ニ申上ゲマシタ、此事タルドウシテモ歲ガ經チマセスト申上ゲラレヌ事情ガアッタ、段々既ニ歲モ經ッテ參ッテ、秘密會議デハ申上ゲラルルダケノ事情ニ達シマシタノデ委シク申上ゲマシタ、唯今委員長ノ御報告ノ通りニ、極メテ寛大ナル考ヲ持ッテ決議案ヲ御提出ニナッタト云フコトニ拜承イタシマシタ、併ナガラ政府ニ於キマシテハ今一步進ンデ此決議案ノ消滅スルコトヲ切ニ希望イタシマス、申スマデモナク軍國ノ場合ニ於キマシテハ詰リ國家ヲ賭シテノ仕事デゴザイマスカラ、當局者ハ先ヅ安全ナル方ノ考ヲ決メテ國ヲ導イテ行クヨリ仕方ガナイ、アトカラ理窟ヲ付ケテ是ハサウスルニ及バナカッタラウ、斯ウ云フ議論ニナリマスルト云フコトハ、甚ダ當局者ノ苦心ヲ御推察クダサラヌ事柄ニナリマス、此百三十銀行ハ既ニ三十七年ノ春頃ヨリシテ段々内部ノ狀態ガ危險ニナリマシタノデ、其事ハ固ヨリ當業者ノ間ニハ分ッテ居ル、即チ銀行業者ノ間ニ分ッテ居リマスノデゴザイマスガ、一般公衆ト云フ者ハ其事ヲ承知シテ居ラナイ、又政府ニ於キマシテモ多少事柄ハモウ既ニ分リマシテ、三十六年ノ既ニ秋頃カラ政府デハ分ッテ居リマシタガ、其當時ノ事情ガ今ヤ日露ノ間ニ或ハ干戈相見エントスル際デアリマシタ爲ニ、銀行ヲ検査シテソコニ破綻ヲ生ジタトキニハ非常ナ不利益ヲ見ルト云フコトカラ、検査ヲ差控ヘテ致サヌコトニシテ、成ルベク彌縫シテ行キタイト云フ考デアリマシタノデ、ソレ故ニ既ニ三十七年ノ春ニナリマシテモ、餘ホド事ガムヅカシクナッテ來タ、ソレデ政府ハ頭取タル松本重太郎氏ヲ呼出シテ、色ミノ事ヲ纏メヤウト掛カッタガ、ソコニ松本氏ヲ呼出スコトガ出來ナカッタ事情ガアッタ、如何トナレバ、チヨットシタコトガ直グニ民間ノ信用ニ影響ヲ及ボスト云フコトデゴザイマスカラ、却ッテ銀行ノ當業者ヲ政府ガ呼出スコトモ出來ズ、又政府自ラ重モナル者ガ出掛ケテ之ヲ纏メルト云フコトモ出來ナイ、極ニハ秘密ニシテ纏メタイ、併ナガラ其間ニ於キマシテ極メテ責任アル人間ヲ呼出シテ、段々日本銀行ナリ、正金銀行ナリヲシテ、成ルベク機微ノ間ニ百三十銀行ヲ應援シテ、先ヅドウカスウカ事

ヲ纏メタイト思ッタニ拘ラズ、四月頃ニナリマシテ始ド如何トモスベカラザル事情ニナリマシタ、而シテ其當時ノ有様ハドウデアッタカト云フト、日露戰爭ガ始マッタバカリデ、又日本銀行ノ正貨準備ハ非常ニ減少ヲ告ゲテ居リマス、ソレデ財政代理者タル高橋君ハ今ヤ漸ク外債ノ談判ニ取掛ッテ居ルト云フ際デアッテ、實ニ此間ニ於テハチヨットシタコトガ直グニ障ルヤウナ事情デアリマシタガ爲ニ、日本銀行ニ向ッテ特殊ノ命令ヲ下ダシテ漸ク維持セシメテ置キマシタノデゴザイマス、續キマシテドウシテモ此維持ガ出來ヌト云フコトヲ申シ出マシタノガ、第二回ノ國庫債券ノ募集ヲ始メマシタトキデ、此募集ノ未ダ締切ニ至ラザルニ營業停止ト云フコトガアリマシタナラバ甚シキ不結果ヲ見ルト云フ虞ガアリマシタカラ、是亦特殊ノ命令ヲ下ダシテ、成ルベク募集締切ノ最後ノ日マデ維持シロト云フコトデ、ヤット維持シマシタガ、募集締切ノ翌日ニ至ッテ營業ヲ停止イタシマシテ、即チ休業ト云フ札ヲ掛クルコトニナッタ、併シ百三十銀行ガ若シ斯ウ云フ舉ニ出デマスルト、又外國ノ方ニ響クト云フ虞ガアリマシタカラ、政府ハ斷然タル考ヲ持チマシテ、未ダ其時ニ於テハ救済ノ方法ハ決シテ居ラヌニモ拘ラズ、百三十銀行ハ遠カラズ再ビ開業スルト云フコトノ浮説ヲ流布セシメタ、又海外ヘハ其意味ヲ以テ電報ヲ發シマシテ、毫モ顧慮スル所ハ無イ、百三十銀行ハ開業スルモノデアルカラ安心セイト云フコトヲ一般ニ流布セシメタ、其當時ニ於キマシテハ未ダ何等ノ百三十銀行ヲ救済スルノ成案ハ無カッタ、其後ニ至リマシテ、ドウシテモ是ハ有力ナル財政家ニ託スルニアラザレバ此信用ヲ維持スルコトガ出來ヌト云フ所カラ、安田善次郎ト云フ人ニ託シテ此救済ノ途ヲ講ゼシメタ、安田ハ再三辭退イタシタニモ拘ラズ、結局、政府ハ是非トモ依頼スルト云フコトデ、引受ケタノガ最後ノ處分トナッテ、即チ今日不當ナリト云フ決議ヲシヤウト云フ御話ニナッテ居リマスガ、成ルホド單ニ六百萬圓ヲ二分ノ低利デ貸シタト云フノミヲ御覽ニナリマス、サウ云フ一應御疑ガ起ルコトデアリマセウガ、此百三十銀行ノ營業ヲ停止イタシマシタトキノ計算ニ依リマス、預金ノ高ハ八百萬圓カラデアル、ソレガ數萬口ニ分レテ居リマスノデゴザイマス、ソレ故ニ若シ百三十銀行ガ營業ヲ開カヌ時分ニハ唯今委員長カラ御報告ガアリマシタ通りニ、軍人ノ家族ニ遺サレタ金ト云フヤウナモノハ愚カ、中ニハ丁度七月ノ諸會社ノ配當ニ瀕シテ居リマシタガ爲ニ、大ナル鐵道會社等ノ如キモ配當金ハ皆百三十銀行ニ預ケテ有ルト云フヤウナ場合デ、株主ヘ

ノ配當モ出來スト云フヤウナ事情モ其間ニ存シテ居タ、若シ八方カラ圓滿ニ預金ヲ引出スコトガ出來スト云フコトニナツタナラバ、其影響ノ及ブコトガ計ラレヌ、ソレノミナラズ今日ニ於テハ稍言ヒ得ルコトガ出來マスガ、其當時百三十銀行ノ營業ヲ停止シタト共ニ、他ノ隨分有力ナ銀行ガ取付ケニ遭フ、其一ツノ如キハ今日ハ極メテ安全ナ銀行ニナツテ居リマスガ、其當時ニ於キマシテハ一ト晩、二タ晩ト云フモノハ危イ所マデ行ツタノデアル、ソレ等ノ事情ト云フモノハ當局者トシテ一言モ言ヒ得ルコトガ出來ナイ、又百三十銀行ヲ救ハヌデモ宜シイ、或ハ救ウタ所ガ何等ノ心配ハ無イト云フ位ナコトハ、銀行業者ヲシテ言ハシムルニアラザレバ人心兢々トシテ日露ノ勝敗何レニ決スルカ分ラヌ際デ、甚ダ危險ナ際デアッタガ故ニ、百三十銀行ヲ政府ガ救済セヌデモ宜イト云フヤウナ説ヲ流布セシメタノデアル、以テ一體ノ信用ヲ政府ハ維持セシメタノデアリマスカラ、今日ニ於テコソ之ヲ説明ガ出來ルノデアルガ、其當時ニ於テハ遠回シニ言ハセルダケデ、當局者ノ口カラ言フコトハ出來スト云フ事情デアッタ、而シテ安田ガ引受ケラレタ結果ハ、其當時私ハ自ラ計算ヲ取ツタノデアリマスカラ能ク存ジテ居リマスガ、詰リ株主ハ皆損ヲスル、ソレカラ重役ト致シテハ別段ニ無限責任ト云フコトハ無イノデアアル、無イノデアアルガ、併ナガラ己レガ重役デアツテ斯ノ如ク損失ヲ來タシタト云フ上カラ、政府ハ重役デアツテ即チ頭取ニモ其他ノ重役ニモ持出シヲサシタ、其持出金ト云フモノハ何モ法律上ノ責任ハ無イノデアアル、德義上己レガ重役デアツテ斯ノ如キ不始末ヲシタ以上ハ、預金者ニ損ヲ掛ケルト云フコトハ出來ナイト云フ上カラ持出シヲサシタ、而シテ損失ノ高ラ段々調ベテ見テモ、ドウシテモ損ガ多クテ償フコトガ出來ナイ、ソコデ安田ノ案ハ即チ此六百萬圓ヲ十箇年間二分デ借リル、サウスルト云フト、ソレヲ運轉シタ差金デ其損ヲ填メテ行カウト云フ計算デアリマシタノデス、ソレデ詰リ十年經ツタ曉ニハ預金者ト云フ者ニシツカリ金ヲ返シ得テ銀行ハ元モ何モ無クナツテ仕舞フト云フコトニナツテ仕舞フノデアアル、ケレドモ其當時私ノ取リマシタ計算デハ、結局ニ至ツテ五十萬圓内外ハ安田ノ損ニナルト云フ計算デアッタノデ、ソコガ即チ安田ト政府ト交渉ガムヅカシイ所以デ、如何ニ安田ト雖モ結局ニ至ツテ五十萬圓ノ損ヲスルト云フコトハ難シトスル所デ、再三辭退ヲシタケレドモ、ソレヲ再三政府ハ壓迫ヲ加ヘテ、遂ニ引受ケシムルニ至ツタノデアアル、而シテ其後、今日ノ景況デ見マスと云フト、其時ニハ國ガ勝ツカ負ケルカ分

ラヌ、株ハヅン／＼下落シテ居ル時デアッタカラ、サウデアッタガ、後幸ニ戰爭ニ勝ツテ株ガ直ツテ來タニ付イテハ、多少安田氏ノ困難モ免レ得タノミナラズ、同氏ノ信用ニ依ツテ預金モ其後殖エテ來ル、又十年ノ後ニハ負債ト資産ヲ勘定シテ洗ツテ計算シテ見ルト暖簾ガ殘ルト私ハ信ズル、暖簾ガ殘ルナラバ銀行ノ維持ハ出來ル、株主ハ損ヲシテ株ヲ切捨テタニ拘ラズ、銀行ノ暖簾其モノガ殘ルカラ銀行ノ維持ハ出來ルコトニナル、ソレデ此事ニ付イテ利益ヲ得タノハ誰デアアルカト云フト、百三十銀行デハナイ、百三十銀行ノ重役デモナイ、即チ預金者デアアル、預金者ハ取レヌト思ツタモノガ取レルヤウニナツテ、而シテ融通ガ止マラヌ、ソレデ國家經濟上ノ波瀾ヲ免レ得タト云フトニナツテ國庫ノ上ノ概算カラ見ルト一方ニ於テハ五分ノ國庫債券ヲ募リ、一方ニ於テハ安田ニ二分デ貸シタノデアアルカラ、一箇年十八萬圓ノ損デアアル、此十八萬圓ノ損ヲ當時軍國ノ際ニ客ム方ガ得策デアッタカ、客マナカッタ方ガ得策デアッタカ、今日此問題ヲ決スルニ當ツテ、僅々十八萬圓ノ爲ニ百三十銀行ヲ潰ス方ガ得策デアッタト云フ御議論ハ驚入ツタ御議論ト言ハナケレバナラヌ、故ニ軍國ノ事ヲ議セラルルニ付キマシテハ、其當時ノ當局者ノ言フニ言ハレヌ苦心ノアツタ所ヲ御推察クダサレマシテ、極メテ穩當ナル御決議ニ出デラレムコトヲ切ニ祈リマス、決シテ其當時ノ當局者ガ能ク物ヲ何モ彼モ一ツモ瑕ナク爲シ得タト云フコトハ私ハ申スノデアアリマセヌ、必ズ陸海軍ノ當局者ニ於テモ、作戰計畫ノ上ニ於テモ過失ガアツタニ相違ナイ、人ヲ殺サヌデモ宜イノニ多クノ人ヲ殺シ、潰サヌデモ宜イ船ヲ多ク潰シタト云フコトモアラウガ、ソレハ全局ノ上カラ判斷ヲ願ハナケレバナラヌコトト考ヘル、財政モ亦然リ、全局ノ上ニ於テノ財政ガ能ク國家ノ運命ヲ繋ギ得タト云フコトデアアルナラバ、其間ニ於テハ多少斯ウモアツタラ宜カッタラウト云フコトガアツテモ、軍國ノ際ノ決算ヲ御決議ニナル場合ニ於キマシテハ、其當時ノ事情ト云フコトヲ十分ニ御考ヘ下サレマシテ、穩當ナル御決議ガ願ハシイノデゴザイマス、希ハクハ此百三十銀行ノ問題ノ如キハ、貴族院ニ於テハ決議案ノ消滅スルコトヲ切ニ御願ヒ申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御論モ無イヤウデアリマスカラ採決ヲ致シマス、第一ニ採決イタシマスノハ……第一ノ決議案ヲ問題ニ供シマス、……第一ノ決議案、即チ栃木縣水害土木費補助ニ關スル決議案、此決議案ハ決算委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 決議案第二、株式會社百三十銀行ニ對シ六百萬圓ノ貸付ヲナシタル件ニ關スル決議案、此決議案ハ決算委員長ノ報告通リト云フ御説ノ御方ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 多數ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 決議案第三、臨時編書費第一項臨時編書費ニ關スル決議案、右決算委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 決議案第四、基隆築港維持費、第一項事務費、第二項工作及建物費ニ關スル決議案、決算委員長報告通リデ御異存ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 前ニ戻リマシテ決算委員長報告通リ總テ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、暫時休憩イタシマス

午前十一時五十三分休憩

午後一時四分開議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス

○子爵舟橋遂賢君 本員ハ此際議事日程ヲ變更シマシテ、臺灣ニ於ケル特別ノ輸入税ニ關スル法律案、是ハ至急ヲ要シマスカラ之ヲ議スルコトヲ希望イタシマス

○田健治郎君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 舟橋子爵カラ臺灣ニ於ケル特別ノ輸入税ニ關スル法律案第一讀會ノ續ヲ此際開ク爲ニ議事日程ノ追加ノ動議ガ出マシタ、田君ノ賛成ガアリマシタカラ議題ト致シマス、舟橋子爵ノ動議ニ御異存ゴザイ

セヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマスカラ是ヨリ此會議ヲ開キマス

臺灣ニ於ケル特別ノ輸入税ニ關スル法律案
右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也
明治四十年三月二十六日

右特別委員長

子爵舟橋 遂賢

貴族院議長公爵德川家達殿

(別表)

輸入税表

(修正ノアリタル別表ノミヲ載録ス)

品 名

魚介類ノ内

種魚

蔬菜(砂糖、糖蜜、糖水又ハ蜂蜜ヲ以テ貯藏シタルモノヲ除ク)ノ内

罐詰、罐詰又ハ壺詰ニ非サルモノ

麥製及米製ノ支那麵類

人參

一斤三十根ヲ超エサルモノ

其ノ他

生綿及繰綿

屑綿及故綿

故ボンニール囊

書畫用ニ非サル唐紙

瓦類ノ内

瓦(泔藥ヲ施シタルモノヲ除ク)

陶磁器破片及碎瓦

同

單位	稅率
從價	一割
從價	三割
從價	二、二五
每斤	六、〇〇
同	一、〇〇
每百斤	一、三〇
同	〇、五五
每百箇	一、二〇
每百斤	一、〇〇
同	〇、一〇
無稅	無稅

備考 從量稅率ノ單位ハ圓トス

「子爵舟橋遂賢君演壇ニ登ル」

○子爵舟橋遂賢君 臺灣ニ於ケル特別ノ輸入税ニ關スル法律案、此委員會ノ經過及結果ヲ御報道イマシマス、本委員會ハ昨日及今日開會イタシマシテ、先ヅ本案ノ精神即チ國定稅率法トノ關係等ニ付イテ十二分ノ精細ナル説明ヲ政府委員ヨリ聽取リマシテ、且ツ此從量稅ヲ從價稅ト改メタコトニ付イテモ非常ニ質問ガゴザイマシタ、遂ニ修正案ガ提出ニナリマシテ、本案ハ出席者全會一致ヲ以テ修正議決ヲ致シマシタ、就イテハ簡單ニ此經過ヲ申上ゲマスガ、此案ハ御承知ノ通り内地ノ國定稅率法ニ依ッテ、臺灣ニ於テハ種々ノ事情ガアツテ此法ヲ以テヤルコト、ガ大ニ困難ナ點モアリ、ソレニ依ッテ此現行稅率ノ從量ニナッテ居ルモノハ此改正ニ依ルト從價トスルト云フコトニナッテ居リマス、此現行稅率ニ對スル臺灣ノ改正稅率ハ各品目ニ就イテ一々委シク政府委員カラ答辯ガゴザイマシテ、大體ニ其立法ノ精神ハ略々聽取リマシタ、然ルニ此大ナル疑問ノ生ジマシタト云フノハ此大體、政府ガ關稅定率法ニ依ッテ從量法ノ精神ヲ採リツツアルニ拘ラズ、臺灣ニ於テハ從價稅ニスルト云フ事柄ガドウモ分ラナイ、成ルホド此今度提出ニナリマシタ原案ノ各品目ニ付イテ魚介類、蔬菜ノ如キモノ、砂糖ニ付イテハ成ルホド内地ト事情ヲ異ニスル點カラ、斯ノ如ク改正シテ、即チ從價ニ依ルト云フコトガ大ニ必要デアルト云フコトニ付イテハ、各委員ニ於テ總テ認メラレル所デゴザイマシタガ、其他ノモノニ付イテハ改メテ從價ニシナクテモ矢張り從量ニ依ッテ、履行シ得ラルベキモノデアルト云フ御議論ガゴザイマシテ、詰リ其精神ヲ以テ田君ヨリ修正案ガ出マシタ、出席者滿場一致ヲ以テ可決シマシタ、是ヨリ修正案ノ御報告ヲ申上ゲマス、一番ノ種魚、蔬菜、此二項ハ其儘デゴザイマス、ソレカラ其次ハ「マカロニー、バーミセリ」其他各種ノ麵類「トゴザイマス」之ヲ修正シマシテ「麥製及米製ノ支那麵類」ト斯ウ改メマシタ、ソレカラ其下ニ「同」トアルノヲ改メマシテ「每百斤」「二、二五」ト斯ウ直シマス、ソレカラ次ニ「人參」ト申シマス其下ヘ「一斤三十根ヲ超エサルモノ」、是ガ同ジク「每斤」「六、〇〇」其次ノ行ニ「其ノ他」ト斯ウ入レマシテ、是ガ「同」「一、〇〇」ト斯ウ直シマシタ、ソレカラ其次ニ「生綿及線綿」トゴザイマス其下ヘ持ッテ來テ「同」ト云フ字ヲ消シテ「每百斤」「一、三〇」ト直シマシタ、其次ニ「屑綿及故綿」トアリマス其下ヲ「同」「〇、五五」ト斯ウ直シマシタ、ソレカラ其次ノ「故ゴニ」囊「其

下ヘ持ッテ來テ「同」ト云フ字ヲ消シテ「每百箇」「一、二〇」ト直シマシタ、ソレカラ其次ノ「唐紙」ト云フノヲ改メマシテ「書畫用ニ非サル唐紙」ト斯ウ直シマシタ、其下ノ「同」ト云フ字ヲ消シマシテ「每百斤」「一、〇〇」ト斯ウ直シマシタ、ソレカラ「瓦類ノ内瓦、泐藥ヲ施シタルモノヲ除ク」其下ヘ持ッテ來テ「同」「〇、一〇」ト斯ウ修正シマシタ、ソレカラ終ニ「備考」ト認メマシテ「從量稅率ノ單位ハ圓トス」斯ウ挿入イタシマシタ、ソレカラ衆議院ノ方デ直シマシタ「單位」「稅率」ト云フモノヲ復活シマシテ此通りノ修正案ガ出マシタ、是ハ尙ホ念ノ爲ニ申シマスガ、現行關稅定率法ノ精神、從價ヲ漸次從量ト改メツツアルト云フ大方針ニ拘ラズ本案ハ從價トナッテ居ル、併ナガラ從價ニセネバナライモノハ成ルホド從價ニセネバナライデアラウ、ソレハナゼナラバ併臺灣ニハ特殊ノ事情ガアリ各品目等ニ付イテ價ガ内地ト大ニ異ナル點アリ旁「サウセネ」バナラヌデアラウ、併ナガラ從價ニセナクトモ從量デ行ヒ得ベキモノマデモ從價ニスルト云フノハ甚ダ其意ヲ得ナイ、カルガユエニ政府原案ノ精神ニ依リ衆議院修正ノ趣意ニモ悖ラナイ範圍内ニ於テ此修正說ヲ提出スル、畢竟内地關稅定率法ノ備考ノ精神ト均シカラシメルト云フ趣意デアリマシタ、此修正ニ付キマシテハ政府モ同意スルト云フコトヲ明言サレテ居リマス、斯ノ如キ次第デゴザイマスカラ、ドウカ此委員會ノ修正案ニ諸君ノ御贊成ヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 採決イタシマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○子爵舟橋遂賢君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○議長(公爵德川家達君) 第二讀會デアリマスカ

○子爵舟橋遂賢君 第二讀會デス

○南郷茂光君 贊成

○子爵本多忠敬君 贊成

「其他」贊成「ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 舟橋子爵ノ直ニ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、特別委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ第二讀會ヲ終リマシタ

○子爵舟橋遂賢君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○南郷茂光君 賛成

○子爵本多忠敬君 賛成

○田健治郎君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ本案ハ確定イタシマシタ

○侯爵佐竹義生君 本員ハ、北海道ニ市制ヲ施行スル法律案外二件ハ至急ヲ要シマスカラ、此際ニ議事日程ヲ追加シテ議シタイト思ヒマスル

○議長(公爵德川家達君) 御注意イタシマヌガ、動議ハ賛成者ガ無クテハ議題トナリマセヌ

○男爵北垣國道君 賛成

○岩村兼善君 賛成

○子爵裏松良光君 賛成

「其他」賛成「ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 佐竹侯爵ノ議事日程追加ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程ハ追加サレマシタ、此際諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、三案トモ同一委員デアリマスカラ報告モ同時デ宜カラウト思ヒマス、御異議ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

北海道ニ市制ヲ施行スル法律案 (衆第十九號)

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治四十年三月二十六日

右特別委員長

侯爵佐竹 義生

貴族院議長公爵德川家達殿

「小字ハ修正、ハ削除ノ符號」

内務大臣ハ北海道ニ市制ヲ施行スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ市制中府縣トアルハ北海道ニ府縣知事トアルハ北海道

廳長官ニ府縣參事會トアルハ道參事會ニ府縣稅トアルハ北海道地方稅ニ該

當ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

北海道會法中改正法律案 (衆第二十號)

右否決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月二十六日

右特別委員長

侯爵佐竹 義生

貴族院議長公爵德川家達殿

北海道地方費法中改正法律案 (衆第二十一號)

右否決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月二十六日

右特別委員長

侯爵佐竹 義生

貴族院議長公爵徳川家達殿

「侯爵佐竹義生君演壇ニ登ル」

○侯爵佐竹義生君 ソレデハ唯今議長ノ御報告通り三案共ニ一括シテ御報告イタシマス、委員會ノ經過及結果ヲ御報告イタシマスガ、實ハマダ諸君ノ御手許ニ……委員會ニ於テハ修正ヲ致シマシタノデアリマスガ、其修正案ガマダ恐ラクハ廻ッテ居リマセヌト存ジマスルノデアリマスガ、何分會期モ明日限りニナリマシタカラ、兩院協議會モ開カナケレバナラヌヤウナコトニナリマシテゴザイマスカラ、至急ヲ要スル爲ニ甚ダ不都合デハゴザイマスガ、此所デ報告ヲ致シタイ、先ヅ此委員會ハ昨二十五日トソレカラ今二十六日ト兩度開キマシテゴザイマス、先ヅ政府委員ノ出席ヲ求メマシテ説明ヲ段々聽キマシタ所ガ、大體ハ賛成ヲアルケレドモ、併ナガラ此衆十九號ノ北海道ニ市制ヲ施行スル法律案、此案ハ同意デアル、同意デアルケレドモ、他ノ右二案ハ即チ二十號及二十一號ノ法案ニ就イテハ不同意デアルト云フコトデゴザイマシタ、ソレカラ委員會ニ於キマシテハ、先ヅ此二十號及二十一號カラ先ニ議シマシテゴザイマス、段々諸君カラ御意見モ御述ベニナリマシタ、又政府委員ノ意嚮モ承リマシタガ、何シテモ二十號及二十一號ノ法案ハナゼ不同意カトナラバ、此法案ハ若シ市制ガ行ハレルコトニナッテ參事會ヲ開クコトニナルト、十勝釧路ナドノ遠方カラ會員ヲ召集シナケレバナリマセヌ、其他ニモ不都合ナ場合ガ出來ルヤウニナッテ、到底賛成ハ出來兼ネル、併ナガラ此十九號、即チ北海道ニ市制ヲ施行スル法律案、是ダケハ修正ヲ入レレバ政府デハ同意ヲスルト云フコトデアリマシテ、此修正ハマダ御手許ヘ同ッテ居リマスマイカラ、此所デ讀ミマスガ、前項ノ場合ニ於テ市制中府縣トアルハ北海道ニ府縣知事「云々トゴザイマス、其下ヘ」及府縣參事會「ト加ヘテ、ソレカラ」北海道廳長官ニ「ノ下ノ」府縣參事會トアルハ道參事會ニ「ト云フ字ヲ削リマス、モウ一度讀ミマス

前項ノ場合ニ於テ市制中府縣トアルハ北海道ニ縣府知事及府縣參事會トア

ルハ北海道廳長官ニ府縣稅トアルハ北海道地方稅ニ該當ス

斯ウナルノデアリマス、此修正デアレバ同意ガ出來ル、サモナケレバ政府ニ於テハ不同意デアルト云フコトデゴザイマシタ、段々審議ノ未滿場一致ヲ以テ此政府ノ意嚮ノ修正通りニ議決イタシマシタヤウナ次第デアリマス、ドウカ諸君ニ於カレマシテモ此修正ニ御同意ヲ願ヒタイ、併ナガラ此十九號ノ市制ヲ施行スル法律案ハ修正ヲ致シテ可決イタシマシタ、ソレカラ二十號、二十一號ノ法案ノ二ツハ否決スベキモノト議決イタシマシタヤウナ次第デゴザイマス、ドウカ孰レモ此三案トモ事柄ハ色々ゴザイマスガ、至ッテ簡單ナ條項デモゴザイマスカラ、ドウカ三案讀會ヲ省略セラレテ、確定アラムコトヲ希望イタシマス、是ダケ……私ガ申シ誤リマシタ、唯今ノ二十號ト二十一號ノ二案ハ否決デゴザイマスカラ讀會省略デハゴザイマセヌ、申シ誤リデゴザイマシタ

○一木喜徳郎君 テヨット質問ヲ致シタクゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) ドノ案ニ就イテノ御質問デスカ

○一木喜徳郎君 北海道ニ市制ヲ施行スル法律案ニ就イテ質問シタイノデゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○一木喜徳郎君 政府委員ハ居ラレヌヤウデゴザイマスカラ、委員長カラデモ政府委員カラデモ御答ヘ下サイマシテモ宜シウゴザイマスガ、唯今政府委員ガ見エマセヌカラ、委員長ニチヨット伺ヒマス、實ハ此案ニ就キマシテハマダ速記録ヲ拜見イタシマセヌカラ利害ヲ考ヘル邊ガゴザイマセヌ、是マデハ北海道ニハ區制町村制ガ行ハレテ居ル筈ダト思ヒマス、今回市制ヲ施行イタシマスノハ何レノ地區デゴザイマスガ、其事ヲ伺ヒタイ、又現行ノ區制デハ如何ナル差支ガアルカ、其邊ニ付キマシテ委員會デ御調ベニナリマシタナラバ、其經過ヲ伺ヒタイノデアリマス

○侯爵佐竹義生君 其コトハ委員會デ別段ニ調ベモ致シマセヌデゴザイマシタガ、委員ノ中ニハ幸ニ曩ニ長官デ御在デノ園田君、原君、岩村君ノ御三人モ御在デデゴザイマスカラ、此三君ノ中ニ御尋ネニナリマシタナラバ、北海道ノコトハ委細御分リニナリマセウカラ、ドウカサウ願ヒマス

○一木喜徳郎君 本員ハ此案ニ就キマシテハ、反對賛成何レモ意見ヲ決メル材料ガゴザイマセヌ、此場合直ニ委員長ノ報告ニ賛成ヲ申上ゲル譯ニハ參リ

マセヌ、差當リ本年ドウシテモ施行シナケレバナラヌ必要モ無カラウト思ヒ
マスカラ本年ハ先ツ此案ヲ否決セラレムコトヲ望ミマス

〔賛成「ト呼ブ者多シ」〕

○子爵谷干城君 谷モ賛成シマス

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、北海道ニ市制ヲ施行スル法律案、
本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵德川家達君) 少數ト認メマス、此案ハ否決セラレマシタ

○議長(公爵德川家達君) 次ハ北海道會法中改正法律案竝ニ北海道地方費法
中改正法律案、此二案ヲ一括シテ議題トシテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ「ト呼ブ者アリ」〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、此議案ヲ第二讀會ニ移ス
ベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 無シ

○議長(公爵德川家達君) 起立者ハゴザイマセヌ故ニ二案トモ否決セラレマ
シタ

○議長(公爵德川家達君) 次ハ議事日程第十三、商業教育ニ關スル建議案、
伯爵柳澤保惠君外五名提出、會議、建議案ヲ朗讀ヲ致サセマス

〔東久世書記官朗讀〕

商業教育ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治四十年三月二十三日

發議者 伯爵柳澤 保惠 辻 新次 淺田 德則

男爵高木 兼寛 木場 貞長 内藤 宇兵衛

贊成者 侯爵細川 護成

外百十七名

貴族院議長公爵德川家達殿

商業教育ニ關スル建議

本邦ニハ商業ニ關スル大學程度ノ教育機關ナシ現下ノ時運ニ際シ最缺點ナ
リト認ム由テ政府ハ速ニ相當ノ設備ヲ爲スヘシ

右建議ス

理由

國運益進ミ今や列強ト伍ヲナシ一年ノ政費六億圓ヲ出テ國債二十億ヲ超ユ
大ニ生産貿易ノ増進ヲ圖ラサルヘカラス而シテ其ノ目的ヲ達セムニハ商業
ニ關シ高尚ナル學術技藝ヲ授クル教育ノ設備ヲ必要トス現在ノ高等商業學
校ハ未タ此期望ヲ完ウスルニ足ラス近時歐米諸國ニ於テ大學程度ノ商業教
育ノ設備ハ次第ニ増加セルヲ見ル是等ノ諸國ト競爭場裏ニ馳騁スルニ際シ
商業ニ關スル大學程度ノ教育機關ヲ設クルコト一日モ猶豫スル能ハス由テ
本案ヲ提出ス

〔辻新次君演壇ニ登ル〕

○辻新次君 諸君、私ハ此發議者ノ一人デアリマスカラ、此建議ニナリタイ
ト云フコトニ付キマシテノ理由ヲ簡單ニ申上ゲテ諸君ノ御賛成ヲ仰ギタイノ
デゴザイマス、略シ此理由書ニモ書イテゴザイマスル通りデ、理由ヲ申上ゲ
マスレバ多々ゴザイマスルガ、極メテ大要ヲ申上ゲテ置キマス積リデアリマ
ス、諸君モ御承知ノ通り教育ノ機關ハ追々設備モ付イテ參ッテ居リマスル
ガ、獨リ商業教育ニ關シマシテノ最高教育ノ機關ト云フモノハ、未ダ缺ケテ
居リマスル次第デアリマシテ、誠ニ遺憾ト存ジマスルノデゴザイマス、殊ニ
今日ニ於キマシテハ戰後ノ經營ト致シマシテ、國家ノ富強ヲ圖ラヌケレバナ
ラス、之ヲ圖リマスルノニハ種々ノ方法モゴザイマセウガ、大ニ生産ヲ進
メ、貿易ヲ盛ニシテ參リマスル云フコトハ、最モ急務中ノ急務カト存ジマス
ノデゴザイマス、ソレニハ商業社會ヲシテ十分ニ進歩セシメナケレバナルマ
イト思ヒマスル、所デ諸君モ御承知ノ通り從來ハ兎角、我が商業社會ガ他ノ事
業ニ比較イタシマシテ優ッテ居ルトハ申兼ネマス、商業社會ハ他ノ事業ニ較
ベテ劣等デアルト申サヌケレバナラヌ次第デゴザイマス、サウ云フコトデ
ゴザイマスレバ、商業社會デ最モ入用ト申スベキハ道德デス、此商業社會ノ
道德ヲ能ク進メ、又ソレニ相應スル所ノ知識ト云フモノヲ有タネバナリマセ
ヌ、ソレニ唯今申上ゲタ如ク商業教育ニ關シマシテ其最高ノ教育機關ガ缺ケ
テ居ルト云フコトハ誠ニ遺憾ト申サヌケレバナリマスマイト思ヒマス、殊ニ
今日デハ世界ノ列強ニ伍シテ最モ此貿易等ニ付キマシテハ十分ナル權力ヲ得

ネバナラス時デゴザイマセウ、然ルニ歐米ノ有様ヲ見マスレバ商業教育ニ關シマシテモ、其國ニ於キマシテ其教育機關ノ組織、或ハ名稱等ニ於テハ異ッテ居ル所モゴザイマセウガ、最高ノ教育、即チ大學程度ノ教育ガ十分備ハッテ居ルト云フコトハ誠ニ明白ナ次第デゴザイマス、ソレハ英ニ佛ニ獨ニ、尙ホ歐羅巴デハ伊太利、白耳義、其他ノ國、又北米合衆國等ニ於キマシテモ、此商業教育ニ關シテハ即チ大學程度ノ學校ハ能ク備ハッテ居ルト云フヤウナ次第デゴザイマスカラシテ、ソレコレ唯今申上ゲマシタ通り、我ガ國ノ商業社會ハ一層道德ヲ高メ相當ノ高キ知識ヲ與ヘヌケレバナリマセスト云フコトハ、今喋々申上ゲルニ及ビマセヌコトト思ヒマス、然ルニ其最高ノ教育、即チ大學程度ノ教育ノ缺ケテ居リマスルト云フコトハ、一日モ猶豫ノ出來マセヌコトカト存ジマシタカラ、此建議ヲ致シタイト云フコトニナリマシタ次第デゴザイマス、トウゾ諸君ニ於カレマシテモ其趣旨ヲ御賛成クダサイマシテ、速ニ可決アラムコトヲ切ニ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 採決イタシマス、本建議案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十四、國語及字音假名遣ニ關スル建議案、伯爵德川達孝君外六名提出、會議、建議案ヲ朗讀イタサセマス

〔東久世書記官朗讀〕

國語及字音假名遣ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治四十年三月二十四日

發議者

伯爵德川 達孝

男爵松平 正直

男爵金子 有卿

中島 永元

岡田 良平

伊澤 修二

日高 榮三郎

贊成者

子爵堤 功長

外四十一名

貴族院議長公爵德川家達殿

國語及字音假名遣ニ關スル建議

明治三十三年八月文部省令第十四號小學令施行規則第二號表並同三十九年十二月文部大臣カ高等教育會議ニ諮詢シタル國語及字音假名遣ハ共ニ不穩當ノ廉不少ト認ムルニ依リ官民現行ノ慣例ニ背カサル範圍内ニ於テ更ニ之ヲ整理セラレムコトヲ望ム

理由

理由ハ本文ニ同シキヲ以テ之ヲ略ス

○議長(公爵德川家達君) 伊澤修二君

〔伊澤修二君演壇ニ登ル〕

○伊澤修二君 諸君、本員ハ國語及字音假名遣ニ關スル建議案ノ理由ヲ極メテ簡單ニ述ベマシテ諸君ノ御贊同ヲ仰ギタイト考ヘマス、先ヅ第一ニ少シク順序トシテ申上ゲタイトハ、實ハ諸君モ御承知アラセラレマスル通り、曩ニ私ハ此問題ニ付イテ質問書ヲ提出イタシタデゴザイマス、然ルニ殆ド二十餘日間ヲ經マシテモ、マダ政府ヨリ答辯ヲ得マセヌ、已ムヲ得ズ此同志ノ諸君ノ助ヲ得マシテ建議案ヲ出サウト云フコトヲ、即チ此議院法ノ五十條ニ據ッテ運ンデ居リマシタノデゴザイマス、所ヘ昨日ニ至リマシテ政府ヨリ答辯ガゴザイマシタ、是ハ諸君ノ既ニ御承知ノ通りデアリマス、デ本員ノ考ニハ若シ此答辯ガ十分ノ答辯デアリマシタナラバ、實ハ此建議案ハ撤回イタシタイト存ジテ居リマシタ次第デアリマス、然ルニ不幸ニシテ其答辯ハ隨分委シク且ツ長キニ拘ラズ、本員ノ質疑ニ答ヘル所ノ要領ニ至ッテハ甚ダ不十分デアルト考ヘマシタ、故ニ已ムヲ得ズ又再ビ茲ニ諸君ニ暫時ノ御清聴ヲ煩ハシテ此理由ヲ申上ゲヌケレバナラス次第ニ立至リマシタコトデゴザイマス、成ルベク前キニモ申シタコトデゴザイマスカラ略シ得ルダケハ略シマスルガ、ドウゾ暫クノ御清聴ヲ請ヒタイト存ジマス、ソコデ其答辯ニ依ッテ見マスルト云フト、其第一段ニ答ヘラレタ所ニ依レバ、此明治三十三年八月ニ出シマシタ小學校令施行規則ノ第二號表ハ單ニ字音ノミニ關係シテ居ルモノデ、國語ニハ少シモ關係シテ居ラナイ如クニ政府ハ言ウテ居ルノデゴザイマス、所ガ先般申シマシタ如ク例ヘバ「井」ノ字ノ如キハ現ニ憲法ニモ議院法ニモ其他ニモ皆用ヰテ、即チ「用井」ト云フトキニハ用ヰテアルノデアリマス、

ソレデ又「ヲ」ノ字ノ如キハ謂ハユル天爾波ノ「ヲ」ノ字デ、是ハ憲法ナリ議院法ナリ其他ノ法令、我々ガ日々使フ言葉ニモ一トシテ無イコトハナイノデアリマス、其「ニツヲ」除イタト云フコトハ、是ハ確ニ國語ニ大イナル影響ヲ及ボシタト云フモノデアラウト存ジマスル、デ是ダケノコトハ一應政府ノ答辯ト意見ヲ異ニシテ居ル所ヲ申述ベテ置キマス、而シテ縷々ト其當時ノ始末ヲ述ベラレテ居リマスル、勿論本員ハ此答辯ヲ得マスルマデモナク、現文部大臣ガ御就任前……遙ニ御就任前デアルト云フコトハ十分承知イタシテ居リマスルコトデゴザイマスルケレドモ、其過チヲ糾シマスルノニハ其源ニ遡ラヌケレバ事理ガ分リマセヌ、故ニ已ムヲ得ズ先般ノ質問ニハ此職權ノ如何……職權ニ關スル所如何ト云フコトマデモ申述ベテ置イタ次第デアリマスルガ、其コトニ付イテハ少シモ答辯ト見ルベキモノハ無イノデゴザイマス、ガ併シ是ハ既往ノコトデゴザイマス故ニ決シテ既往ヲ答メルト云フコトハ私ハ致シマセヌガ、併シ我々ノ主張ハ決シテ棄テタモノデナイト云フコトハ茲ニ一言申述ベテ置キタイト存ジマスノデアリマス、又第二段ノ答辯ノ中ニアリマスルコトデ、聊カ新シイ事實ト申スベキヤウナ事實ノコトハ、此辭書ノ類……字引ノ類ニハ往々此棒引假名ヲ用非テ居ルト云フコトヲ言ハレテ居リマス、ソレハ本員モ承知シテ居リマス、シカモ其棒引假名ヲ一番最初ニ用非マシタノハ私自ラデアラウト實ハ存ジテ居リマス、云フノハ臺灣ニ於キマシテ辭書ヲ拵ヘマシタト云フモノヲ拵ヘマシタト云フモノ無イ所デアリマスカラ、臺灣ノ日臺辭典ト云フモノヲ拵ヘマシタト云フモノ無イ所デアリマスカラ、臺灣ノ日引假名ノ下ニハ正シイ本來ノ假名ヲ遺ッテアリマスル、謂ハバ棒引假名ト云フモノハ字引ノ鍵ノヤウナモノデアリマス、字引ノ鍵トシテ使フニハ成ルホド都合ガ宜シイ、例ヘバ「ホー」ト云フノモ「ハウ」デアルトカ「ホウ」デアルトカ、或ハ「ハフ」デアルトカ云フヤウニ、ナカ／＼一々覺エラヌモノデアリマスカラ辭書ノ鍵トシテ使フト云フニハ便利ナモノデアリマス、故ニ其後ニ至ッテ僅カデゴザイマスガ、僅カノ字引ニ之ヲ用非テ居ルト云フコトハ確ニアリマスケレドモ、ソレハ決シテ國語如何ト云フ問題デハ無イ、單ニ字引ニ便利上、鍵トシテ使フト云フニ外ナラヌモノト認メテ本員ハ居リマシタノデアリマス、デ而シテ茲ニ誠ニ残念ニ存ジマスルノハ、本員ガ前キニモ此文部當局者ハ其過チヲ悟ラレテ、サウシテ此棒引假名ト云フモノハ改メラレタト云フコトハ遲シト雖モ尙ホ是ハ誠ニ感服スベキコトデアルト云フコトヲ申シタニ拘ラ

ズ、此度ハ斯ウ云フコトヲ答辯ノ中ニ言ハレテ居ラレマス、「又長音ノ表記法ニ至リテハ」云フノハ棒ノコトデゴザイマス、「長音ノ表記法ニ至リテハ國語及字音ニ關シ」一ヲ用非ルヲ正則トセサルコトナルト雖モ之ヲ代用スルヲ許容スルモノナレハ……目シテ誤謬ヲ傳ヘタルモノト看做スヲ得サルヘシ「斯ウ云ウデアリマス、サウ致シマス」ト云フト決シテ此棒引假名ヲ棄テタノデハナイノデアリマス、矢張り之ヲ固持シテ行カレルノデアリマス、デ茲ニ至ッテ誠ニ遺憾ナガラ、私ヲ以テ見ルトキニハ是ハ謂ハユル過チヲ飾ルト云フコトデハナカラウカト存ジマス、私ハドウゾ文部省ノ過チヲ君子ノ過チヲシメタイト存ジマス、ドウゾ其過チヲ改メルニ客ナラザルコトヲ偏ニ希望シタニ拘ラズ、矢張り斯ノ如キ答辯ヲスル所ヲ見マスレバ、遺憾ナガラ是ハ過チヲ飾ッテ偏執固執ノ意見ヲ通サウト云フコトニアルト見エマス、此點ニ付イテハ私ハドウシテモ同意スルコトハ出來マセヌ、第三段ニ至リマシテ其終リニ斯様ニ文部大臣ハ言ハレテ居リマス、「本大臣ハ是等會議……ト申シマスノハ高等教育會議、並ニ國語調査會ノコトデアリマス、」是等會議ノ意見ヲ審案シ其適當ト認ムルモノハ之ヲ採用シテ之カ實行ノ責ニ任スヘシ」斯ウ言ハレテ居ル、是ハ誠ニ結構ナル御考デアルト思ヒマス、文部大臣ノ雅量ヲ以テ十分ニ良イ所ヲ容レラルルト云フコトハ此所ニ明ニ讀メマスルカラ、如何ニモ御趣意ニハ賛成イタシマスガ、併シ適當ト認ムルハ如何ナルモノヲ適當ト認ムルヤト云フコトニ至ッテハ、茲ニ於テ數言ヲ費シテ文部大臣ノ採定ノ料ニ供スルコトノ必要ガアルト存ジマス、デ例ヘバ棒引假名ノ如キニ至リマシテモ、之ヲ外國ノ地名人名ニ用非ルト云フヤウナコトハ、既ニ今日世ノ中行ハレテ居リマスカラ、是ハ棒引假名ヲ御採リナサルコトハ私ハ至極宜カラウト存ジマス、又漢字音ニ致シマスレバ「寸尺」ノ「寸」ノ字ハ、アレハ一體「ソ」ト云フ音デアリマス、併シ今日ソレヲ「イッソ」ニ「ソ」ト云フ人ハアリマセヌ、之ヲ皆「イッソ」ニ「ソ」ト申シテ居ルカラ改メルコトハ要ラナイ、ソレカラ「明」ト云フ字ハ「ベイ」ト云フ音デアリマスケレドモ、今日ノ年號ヲ「ベイ」ト云フ人ハ一人モ無イ、即チ「メイ」ト云フカラシテ之ヲ「メイ」ト改メル如キハ無論宜イコトデアルト思ヒマス、又或ハ此「妹」ト云フ字ハ矢張り「バイ」ト云フ音デアリマス、ケレドモ今日「ケイテイシバイ」ト云フ人ハアリマセヌカラ、是ハ「ケイテイシマイ」ニスルト云フヤウナコトハ是ハ當リ前デアラウト思フ、ソレデ此國語ノ方ニ就イテ見マシタナラバ例ヘバ

「カハホリ」ト云フノハ今日ハ皆「カウモリ」ト書イテ蝙蝠ト云フコトニナッテ居リマスカラ、是モソレニ改メルガ宜カラウ「カハホネ」ハ矢張り「カウホネ」トスル、ソレカラ「申」ト云フ字ハ「マラス」ト云フノガ本體デアリマスケレドモ、是モ「マウス」ト今日デハ澤山使ッテ居リマスカラ、ソレニ改メルト云フノハ最モ宜シカラウト存ジマス、又「馬」ト云フ字ニ致シマシテモ、是ハ「ムマ」ト云フノガ本當デゴザイマシテ、既ニ諸君ガ御持チニナッテ居リマスル此貴族院デ出来マシタ宿所姓名表ヲ御覽ニナリマス、馬屋原君ノ名ガ何所デ引イテ宜イカト云フト、餘ホドムツカシウゴザイマス、私ハ先達テ引イテ見マシタガ「ウ」ノ字ノ所ニ無イ、ソレカラ「マヤバラ」カト思ッテ「マ」ヲ見タガ「マ」ニモ無イ、トウ「ム」ノ字ヲ見ルト「ム」ノ字ノ所ニ出テ居ル、今日デモ「ムマ」ト云フノガ正シイトシテ探ッテ居ル人ガ随分少カラスト申シテ宜イ、是等ノ如キハ「ウマヤバラ」トスルコトハ無論宜カラウト存ジマス、ソレデスノ如キコトハ即チ今日官民ノ間ニ最早行ハレテ居ルコトデアリマスカラ、其行ハレテ居ルモノヲ御採リナサルト云フコトコソ誠ニ文部大臣ノ適當ト認メラレル所デアラウト考ヘマス、然ルニ先日私ガ諸君ニ御目ニ掛ケマシタ即チ此國語調査會ノ答申ニ依ッテ出来マシタ新舊假名遣對照表：：デゴザイマシタカ、對照一覽デゴザイマシタカ、アノヤウナ如キ殆ド此三萬有餘ノ國語ノ内一萬有餘、國語ノ三分ノ一ト云フモノヲ破壊スルト云フガ如キハ無論コレハ文部大臣ニ於テハ不適當ト御認メニナルコトト私ハ信ズルノデアリマス、ソレデスノ如クニシテ現ニ行ハレテ居ル即チ詔勅法令ヲ始メトシ今日我々ノ日用ノ言葉デモ總テ行ハレテ居ルモノヲ御採リナサルト云フコトガ、是ガ適當ナルモノト御認メニナラナクテハナルマイト存ジマス、斯ノ如ク申シマスルト如何ニモ其難キヲ人ニ責ムルノデハ無イカト云フ或ハ御考ガアルカモ知レマセヌ、小學ノ子供ニ向ッテ例ヘバ「アフ」「アウ」「オウ」ト云フヤウナモノヲ一々間違ヒ無イヤウニ教ヘルト云フコトハ非常ニムツカシイト云フコトハ、無論仰シヤル方ガアリマセウ、併ナガラ本員ヲ以テ見ルトキハ先達テ申述ベタダケノ假名ノ中デモ誠ニ稀ニ用弗ラレテ居ル所ノ假名遣ト云フモノガアリマス、アレヲ皆殘ラズ用弗ラレテ居ルノデアリマセヌカラシテ、最モ普通ニ用弗ラレテ居ルモノカラ始メテ徐々ト順序ヲ逐ウテ行キマスと云フト、少シモムツカシタナクシテ實ハ行カレルノデアリマス、併シソレヲ悉ク此字ハ何ノ音デアル、此國語ハ何ノ綴デアルト云フヤウニ皆之ヲ正シク覺エサセ

ルト云フコトハソレハ或ハ小學ニ於テ望ムベキコトデハ無カラウト思ヒマス、小學ニ於テハ是ハ斯ウ讀ムト云フコトダケヲ教ヘレバ足ルノデアリマス、其讀方ダケヲ教ヘルノハ決シテ、ソシナニムツカシイコトデハナイト私ハ斷言イタシテ憚リマセヌノデアリマス、ソレデ行キマスレバ小學カラ中學ニ移リマスル時ニナリマシテモ聊カ面倒ナコトハ無クシテ、ズツ移ッテ行クコトガ出来マス、然ルニ先般來申ス所ノ新假名遣ニ依リマスト一度覺エタモノヲ中學ニ至ルトキハ又廢メテ、サウシテ再ビ又普通ノ假名遣ヲ覺エネバナラスト云フコトノ困難ハ非常ナモノデアルト申シテ宜シイト存ジマス、決シテ此從來ノ假名遣ヲ教ヘルト云フコトハ左ホドムツカシイ事デアリマセヌ、唯タ教科書ヲ作ル人ガ注意シテ親切ニサヘ之ヲ排列シテ呉レバ難ナク學ベルコトト本員ハ確ク信ジマス、右ノ次第デゴザイマスカラ、ドウゾ諸君ニ於カレマシテモ、何卒御贊同クダサレマシテ、本案ノ成立ニ至ラムコトヲ偏ニ希望イタシマス、此印刷ニナッテ居リマスルノ「小學令」ト書イテアリマスノハ「小學校令」ト云フノデ「校」ノ字ガ落ッテ居リマスカラ、正誤ヲ申上ゲテ置キマス

〔政府委員澤柳政太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(澤柳政太郎君) 本案ニ就キマシテ簡單ニ申上ゲマシテ御考ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス、國語假名遣、字音假名遣ト申シマスルコトハ或ル意味カラ申シマスレバ、大變錯雜シタ問題デアルノデアリマス、殊ニ教育上ニ於テハ此問題ノ關係スル所ハ甚ダ重大ナル事デアルノデアリマス、ソレ故ニ會期切迫ノ際デハアリマスルガ、十分ニ從來三十三年ノ文部省令デ定メマシタ二號表ノ如キ、又昨午高等教育會議ニ諮問イタシマシタ案ノ如キモ、色々調査ニ調査ヲ重ネテ致シタ譯デアリマスルノデ、其邊ノコトヲ篤ト委員會ニ於テ申上ゲテ御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマスルカラ、甚ダ會期切迫ノ際、申上兼ネル次第デアリマスルガ、委員會ニ移シテ審議セラレムコトヲ希望スルノデゴザイマス、尙ホ唯今伊澤君ノ御話ニ付イテ特ニ委員會ニ移ス必要ガ有ラウカト云フ點ヲ申上ゲマスレバ、先日大變ニ御熱心ノ御演說モアリマシタガ、其時ニ全ク伊澤君ノ御考ヘ違ヒガアル、即チ明治三十三年ノ小學校令施行規則ノ二號表ト云フモノハ、字音假名遣ニ關シテ改正ヲ致シタモノデアリマシテ、國語ノ假名遣ニハ少シモ關係ノ無イモノデアアル、然ルニ國語假名遣ニ色々關係ガアルヤウニ先日御述ベニナリマシタ、更ニ昨日政府カラ出シマシタ答辭書ヲ御覽ニナリマシテモ、尙サウ云フヤウナ誤解ヲサ

レテ「用非」ト云フ「非」ノ字ヲ無クシテ居ル、或ハ「ヲ」ノ字ヲ無クナシテ居ルト云フ御話デアリマスルガ、ソレハ全ク伊澤君ノ誤解デアッテ、二號表ト云フモノハ全ク字音假名遣ニ關シタ改正デアアルノデアリマス、國語ノ假名遣、即チ「用非」ト云フ時分ノ「非」ノ字、或ハ「之ヲ」ト云フ天爾遠波ノ如キハ、少シモ二號表ニ關係ノ無イモノデアリマスルノデゴザイマス、然ルニ之ヲドウシテモ關係ガ有ルト云フヤウニ、伊澤君ノ如キ此問題ニ付イテハ常ニ御研究ニナッテ居ル御方ニシテ、尙ホ斯ノ如ク誤解ガアルト云フコトニ依ッテ、尙サラ茲デ御決ニナルノハ如何デアラウカト思フノデアリマス、尙又本案ノ趣旨タル所ハ、官民現行ノ慣例ニ背カザル範圍ニ於テ整理ヲシロト云フノガ、本案ノ趣旨デアラウト思ヒマスルガ、官民現行ノ慣例ト云フコトニ付イテ、唯今二三ノ例ヲ御舉ゲニナリマシタガ、ソレダケヲ以テ見マズレバ、會テ明治三十三年ニ本院カラシテ國字、國語、國文ニ關スル建議案ト云フモノガ出テ居ルノデアリマス、其趣旨ニ依ッテ見マズレバ、日本ノ國字ト云フモノニ付イテモ大ニ研究ヲシテ改良ヲ圖ラネバナラス、國語モ國文モ矢張り研究ヲシテ改良ヲ圖ラネバナラス、故ニ此國語調査會ト云フモノヲ設ケテ研究ヲシタラ宜カラウト云フ御建議ガアッタ、其趣意唯今御話ニナッタダケノ範圍内ニ於テ整理ヲスルト云フコトデアッタナラバ、甚ダ矛盾スル嫌ガアリハセヌカト考ヘルノデアリマス、又ソレ以來、三十五年以來政府ガ國語調査會ノ豫算ヲ提出シテ御協賛ニナッテ居ル、調査クダサリマシテ、ソレダケノ事ナラバ別段、國語調査會ヲ設クル必要ガ無カッタウト云フヤウニ考ヘル次第デアリマス、殊ニ此慣行ト云フコトニ付イテモ伊澤君ハ「非」ノ字ヲ無クシテ、甚ダ不都合デアルト云フコトノ御話デアリマシタガ、例ヘバ諸君ガ御用非ニナッテ居ル貴族院要覽ノ一番終ヒニ議事法規索引ニ目錄ガ付イテ居ルノデアリマスガ、ソレハ僅ニ一枚半バカリノ間デアリマスガ、文部省ノ新定ノ假名遣ニ依ッタナラバ、ソレハ正シイノデアリマスガ、舊來ノ假名遣カラ比ベテ見レバ間違ヒト言ハネバナラスモノガ實ニ澤山アル、例ヘバ一番始メノ「委員會」ト云フ「委」ハ即チ「いゝは」ノ「い」デハナイガ、併ナガラ「い」ノ部ニ這入ッテ居ル、「表決」ト云フノハ「ひ」ノ部ニ這入ッテ居ッテ「へ」ノ部ニ這入ッテ居ラス、「協議會」ト云フノガ「さ」ノ部ニ這入ッテ「け」ノ部ニ這入ッテ居ラスト云フヤウナ譯デアリマシテ、是等モ慣行ト言ヘバ、慣行ト言ハレルノデアリマス、併シ伊澤君ノ唯今御述ベニナッタ例ト

此ベレバ、ソレ等ハ間違ヒデアルト言ハネバナラスト思フヤウナ次第デ、「官民現行ノ慣行」ト云フ如キ意味モ十分ニ委員會等ニ於テ承リタイト考ヘマズルシ、旁々甚ダ切迫ノ際申上ダ兼ネタ次第デアリマスガ、委員會ニ御移シナッテ篤ト御審議ニナラムコトヲ希望スル次第デアリマス

○伊澤修二君 唯今ノ澤柳文部次官ノ意見ニ對シマシテ反駁ヲ致シマスガ、宜シウゴザイマスカ、御許シテ下サイマシ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

(伊澤修二君演壇ニ登ル)

○伊澤修二君 諸君、甚ダ此迫ッタ時ヲ費ヤシマスルノハ心ナラズノ次第デアリマスルガ、チヨット一言反駁ヲ試ミタイト考ヘマスガ、ドウゾ御許シヲ……澤柳文部次官ガ今「非」トカ、「ヲ」トカ云フ字ハ國語ニハ關係ガ無イ、字音ノミニ付イテヤッタノデアルト言ハレルガ、字音ノ方デ「非」ト「ヲ」ヲ除ケバ矢張り從ッテ他ノ部分デモ、ソレハ除カルモノデアアル、シカモ文部省ガ其後、國定教科書トシテ出シテ居ル所ノモノヲ見レバ論ヨリ證據、皆ソレヲ除カレテ變ヘラレテ居ル、即チ然ルニモ拘ラズ茲デドウモ強辯セラルルト云フコトハ實ニ私ハ其意ヲ得ヌト考ヘマス、而シテ又嚮ニ本院ヨリ出タ建議案ニハ、何トカ國字云々ト云フコトガ見エテ居ルト云フコトヲ以テソレデ非常ニ廣イ範圍ノ調査ヲサレテ居ルト云フコトデアリマスガ、ソレハ其國字ト云フモノハ何モ國字ヲ新定シロトカ云フヤウナ建議ハ一ツモ出シテ居ラナイ、漢字モ國字、假名モ國字、即チ其漢字假名等ニ付イテノ調査ヲサレタイト云フコトノ建議ノ意ニ外ナラヌノデアリマス、ソレデ若シ此頃文部省デ拵ヘラレマシタ假名遣ノ如キモノヲ用非テ正格ト云フコトナラバ、ソレハ其澤柳文部次官デアルトカ、或ハ高等教育會議ノ諸先生ト云フ先生タチガ、先ヅ御持論ニ從ッテ、第一ニ漢字ヲ廢シテ、ソレカラ先達テ私ガ諸君ニ御目ニ掛ケタアノ綴リデ書イテ大著述ヲコニーツ出シテ御覽ニナッタラ如何デアリマス、ソレハ私ハ學者トシテ名譽ノ話デアリマス、其説ガ當時行ハレナクッテモ千載ノ下ニ知己ヲ求メルト云フ意見ガアルナラバ、學者ヲシイ意見ヲ持ッテ居ルナラバ、サウナスッテ御覽ナスッタラ如何デアリマス、サウ云フコトヲ學者トシテ爲サルコトニ付イテハ、私ハ一言モ異議ハ申シマセヌ、誠ニ感服ト申スベキコトデアアル、然ルニ國語調査會ト云フモノハ如何ナルモノデアアルカ、即チ政府ノ金ヲ費ヤシテ而モ職權ヲ以テ其所デ拵ヘタモノヲ、何モ知ラナ

イ實ニ其無我無心、無抵抗カノ兒童ニ之ヲ強行スルト云フ力ヲ持ッテ居ルノデアアル、サウ云フコトヲスルカラ我輩茲ニ於テ責メナクテハナラヌ、如何デゴザル、我輩ドモハ即チ其國民ニ代ッテ言フノデアアル、國民モシカモ口モ無ク力モ無イ抵抗モ出來ナイ兒童ノ爲ニ辯ズルノデアアル、此兒童ニ向ッテカラニ世ノ中ニ通セヌヤウナモノヲ教ヘテ、サウシテ此教育ノ職掌ガ濟ムト考ヘラレルカ、如何、ソレデ教育ト云フモノハ、モト其現代ノ國民ノ義務ヲ果タスガタメ、臣民トナッテノ義務ヲ果スガタメ、今日小學ヲ卒業スレバ明日カラ差支ヘヌト云フ人民ヲ拵ヘルノガ是ガ國家教育ノ本旨デアアル、其クラ非ノコトハ知ッテ居ルデアラウ、然ルニモ拘ラズ何千年ノ後ニ行ハルルカ何萬年ノ後ニ行ハルルカ知レナイモノヲ拵ヘテ、サウシテ無我無心、無抵抗カノ兒童ニ向ッテ之ヲ強行スルトハ何事ダ、實ニ是ハ甚シイ說デアアルト申サスケレバナラヌト思ヒマス、ソレユニ本員ハ澤柳文部次官ノ御意見ノアルニ拘ラズ、ドウゾ諸君ニ於カレマシテモ此會期切迫ノ際デゴザイマスカラ、本員ヨリ申上ゲマスルハ甚ダ憚リ多イ次第デアリマスガ、ドウカ御即決アラムコトヲ希望イタシマス

○子爵會我祐準君 會期切迫ノ際デゴザイマスガ、此建議案ハ委員ニ付託ニナルコトヲ賛成シタウゴザイマス、…賛成デハナイ發議ヲ致シマス、今政府委員トシテ澤柳君ノ要求ガゴザイマシタ、會期切迫トハ言ヘ尙ホ一日半ノ餘裕ガアリマスカラ、此際委員ニ付託シテ宜シク調査ナサッタ方ガ宜シカラウト思ヒマス、ドウカ諸君、御賛成ヲ願ヒマス

○關義臣君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○伯爵廣澤金次郎君 賛成

○辻新次君 賛成

○湯地定監君 賛成

○侯爵細川護成君 賛成

〔其他〕賛成ト呼ブ者アリ

〔政府委員澤柳政太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(澤柳政太郎君) 唯今伊澤君カラ段々御叱リヲ蒙リマシタガ、其點ニ付イテハ申上ゲマセヌ、二號表ト云フモノハ飽クマデモ字音假名遣ダケニ關係シタモノデ、サウデナイト御考ヘニナッテ居ルノハ明ニ伊澤君ノ御考

ヘ違ヒデアアルデアリマス、又證據トシテ其以後文部省デ作ッタ國定教科書ガ「井」ノ字デアアルトカ「ヲ」ノ字デアアルトカラ抜カシデアアルト云フコトモ是モ全ク伊澤君ノ御誤リデアリマシテ、時間ガアリマスレバ直ニ其書物ヲ取寄セテ御覽ニ入レルノデアリマスガ、決シテサウ云フコトハ無イノデアリマス、ソレカラ伊澤君ニ一言申シマスガ、二號表ト申シマスノハ字音假名遣デ從來ノ新イノ改正イタシタノデゴザイマシテ、一號表ト云フモノハ即チ五十音圖ヲ掲ゲデアアルデアリマス、其五十音圖ニ於テ變體ノ假名遣ヲ省クト云フダケノコトデアリマス、ソコニ「井」ノ字モ「ヲ」ノ字モ、チャント書イデアアルデアリマス、確ニ伊澤君ノ御考違ヒデアアルデアリマス、私が嘘ヲ申シタコトデアリマセヌカラ、ソレヲ辯ジテ置キマス

○議長(公卿德川家達君) 曾我子爵ノ委員付託ニ付イテ採決ヲ致シマス、曾我子爵ノ說ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公卿德川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公卿德川家達君) 此際諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、議事日程ノ第十五ヨリ第二十八マデハ皆請願ノ會議デアリマス、一括シテ議題トシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公卿德川家達君) 御異議ナイト認メマスカラ一括シテ議題ト致シマス

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

意見書案

軍人恩給法ニ基キ扶助料下付ノ件

愛知縣丹羽郡岩倉町平民伊藤藤左衛門呈出

右ノ請願ハ請願人ノ次男故陸軍歩兵二等卒伊藤金五郎ハ明治三十七年六月十四日露戰役ニ從ヒ盛京省方家屯附近ニ於テ實扶的里亞性咽喉炎ニ罹リ爾後遼陽兵站病院ニ於テ療養中死亡シタルモノナレハ軍人恩給法第二十七條中戰地ニ於テ流行病ニ罹リ死亡シタルモノニ該當スルヲ以テ同法ニ依リ扶助料下賜ノ恩典ニ浴セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

島根縣那賀郡和田村郵便局設置ノ件

島根縣那賀郡和田村村長代理助役酒井新市外十九名呈出
右ノ請願ハ島根縣那賀郡和田村ハ本郡中樞要ノ位置ヲ占メ養蠶業及農業ハ共ニ年多額ノ產物ヲ輸出シ隨テ取引頻繁ナルニ拘ラス郵便局ノ位置遠隔ナル爲不便不利尠ナカラサルニ依リ本村中人家稠密ナル字和田町ニ速ニ郵便局ヲ新設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

占考者資格及監督ニ關スル件

東京市牛込區山吹町士族易占業北淵道人外二名呈出
右ノ請願ハ現時我國易占業者ノ多クハ何等素養ナクシテ猥リニ人事ノ吉凶ヲ判斷シ唯料金ヲ貪ルコトヲノミ努ムルカ爲種種ノ惡弊行ハルルニ至レルヲ以テ之カ資格及監督方法ニ關スル適當ノ法規ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

港灣調査ノ件

茨城縣那珂郡港町町長安藤俊章外三十二名呈出

右ノ請願ハ茨城縣下那珂港ハ東海岸ニ於ケル天然ノ港灣ニシテ水深ク南ニ巖船山ヲ控ヘ其ノ山下ハ船舶ノ碇繫ニ適スルヲ以テ北海ヨリ南海ニ往來スル船舶ハ皆此ノ處ニ貨物ヲ陸揚搭載シ又風浪避難ノ場所タルコト幾百年猶福島千葉等ノ漁船ハ日夕出入シ爲ニ附近ノ商業漁業ハ年年盛大ナルニ至レルヲ以テ一度之ヲ改築シ海陸ノ連絡ヲ計ルトキハ益々東北ノ繁榮ヲ來スコト必然ナルニ依リ政府ニ於テ速ニ其ノ調査ヲセラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

地種組換ノ件

兵庫縣揖保郡龍野町士族公吏小林助太郎外六百六名呈出
右ノ請願ハ當兵庫縣揖保郡龍野町ハ土地不便ノ爲年年衰微スルノ狀態ニシテ殊ニ町内ニハ純然タル村落ト稱スヘキモノ荒廢セル士族屋敷及貧民窟ノアルアリテ素ヨリ市街ノ伍伴ニ入ルヘキモノニ非サルニ拘ラス明治三十二年市街宅地ニ編入セラレ且戰時特別稅ノ增課ヲ受ケ今ヤ其ノ負擔ニ堪フル能ハサルニ至レルヲ以テ速ニ郡村宅地ニ組換ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

在外國賣淫婦取締法制定ニ關スル件

東京市麹町區上二番町平民矢島楯子外千九十八名呈出
右ノ請願ハ現時密行賣淫婦ハ支那朝鮮ヲ初メ南洋北米ノ諸洲ニ洽ク我カ帝國ノ面目ヲ汚損スルコト甚シク就中無智ノ婦女子ニシテ誘拐者ノ奸策ニ陷

リ遠ク異郷ニ在リテ悲境ニ沈淪セルモノ夥シキニ至レルモ現行法ハ嚴ニ之ヲ取締ルニ足ラサルヲ以テ速ニ適當ナル法律ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

登録税法中一部改正ノ件

愛知縣八名郡山吉田村長内藤才治郎呈出

右ノ請願ハ監督官廳ニ於テハ町村一部ノ所有財産タル山林原野ヲ町村有財産ニ寄附セシメ以テ町村ノ基礎ヲ鞏固ニスルコトヲ獎勵セラルルモ其ノ寄附ヲ登記スルニハ贈與トシテ他ト同様ニ登記料ヲ納メサルヘカラサルカ爲寧ロ之ニ費ス多額ノ手数料ヲ集メテ貯蓄ヲ爲スニ若カストシ或ハ登記料ノ支出ニ差支フルヨリ之中止スルモノ多ク結局其ノ獎勵ノ趣旨ヲ達スル能ハサルヲ以テ不動産登記法ヲ改メテ此ノ種ノモノニ限り登記料免除ノ除外例ヲ設ケラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

漆樹栽培保護ニ關スル件

福井縣今立郡河和田村日本漆商工會長岩田幸七郎外三名呈出
右ノ請願ハ漆器ハ我カ國重要輸出工藝品トシテ特有物産ナルニ拘ラス之カ原料タル漆樹ノ栽培萎微振ハサルニ付其ノ保護獎勵ノ爲漆樹林ヲ保安林ニ編入シ且政府ハ適當ナル林野ヲ選ミ自ラ卒先シテ漆樹ヲ栽培シ之カ模範ヲ示スト共ニ縣郡市町村及學校等ノ團體又ハ社寺カ其ノ基本財産トスル爲之カ栽植ヲ爲ス場合ニハ一定ノ年限内國有林野ノ無料貸下ヲ許シ其ノ他民有

山野ト雖漆樹栽植ヲ條件トシテ相當期限内其ノ土地ニ對スル租稅及公課ヲ免除スル等ノ法規ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

種牛配付ノ件

東京市京橋區新富町大日本畜牛改良同盟會幹事長和田該輔外五名呈出
右ノ請願ハ現下畜牛ノ必要ハ政府計劃ノ種牛巡回交尾ノミニテハ到底戰時中喪失セル七十萬頭ノ闕ヲ補ヒ且益々激増シツツアル社會ノ需用ニ應スルコト能ハサルヲ以テ政府ハ此ノ際善良ナル種牛ヲ購入シ適當ノ方法ニ依リテ之ヲ各府縣ニ配付シ速ニ其ノ繁殖ヲ計ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

畜牛汽車運賃引下ニ關スル件

東京市京橋區新富町大日本畜牛改良同盟會幹事長和田該輔外五名呈出
右ノ請願ハ畜牛輸送賃率ノ高キニ失スルト同賃率割引手續ノ煩苛ナル爲當業者ノ不便不利甚シク惹イテ畜産ノ發達ヲ阻害スルヲ以テ之ヲ相當ニ低減スルト共ニ其ノ運搬割引手續ヲ簡易ニセラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

牛馬賣買營業者取締規則制定ニ關スル件

東京市京橋區新富町大日本畜牛改良同盟會幹事長和田該輔外五名呈出
右ノ請願ハ牛馬ノ改良發達ヲ計リ大ニ其ノ生産ヲ増加セシメトセハ國民
教育ニ於テ愛畜心ノ普及ヲ圖ルト同時ニ之ヲ飼養シ賣買スル者ノ惡弊ヲ矯
正シテ其ノ品性ヲ向上セシムルノ必要アルヲ以テ牛馬賣買營業者取締規則
ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト
議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

軍人恩給法附則改正ノ件

東京市牛込區北町平民商坂口庄太郎外五名呈出
右ノ請願ハ明治三十九年法律第二十號ヲ以テ軍人癡兵恩給額ヲ改正セラレ
タリト雖同附則ハ同三十七年二月六日以前ニ溯ラサルノ規定ナルヲ以テ日
清戰役ノ爲癡兵トナリタル請願人等ニ及ハサルモ逐年物價騰貴ニ伴ヒ今ヤ
一身ノ糊口ヲ凌キ難キ情態ニ在ルヲ以テ同附則ヲ改正シ凡テノ負傷癡兵ハ
之カ恩典ニ浴スル様セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇
スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

高等工業學校設置ニ關スル件

長岡鑛業會議所幹事長寶田石油株式會社社長山田又七呈出
右ノ請願ハ新潟縣ハ現下染織機業大ニ發達シ殊ニ長岡市ハ縣下工業ノ中心
ニテ運輸交通ノ便ヲ有シ且工業ニ至大ノ關係アル石油ノ産額數百萬圓ニ及
ヒ加フルニ天然瓦斯ノ噴出頗ル豊富ナルヲ以テ各種工業ヲ裨益スルコト夥

シク鑛山業鐵工業ハ將ニ勃興ノ氣運ニ際シ猶衛生經濟共ニ整頓發達シテ之
等各種事業ニ必要ナル技術者ヲ養成スルニ最適當ノ地ナルヲ以テ長岡市ニ
高等工業學校ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇
スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

青森港灣修築ニ關スル件

青森縣青森市參事會青森市長芹川得一呈出
右ノ請願ハ青森港ハ内本洲ト北海道及樺太トノ交通上ノ連鎖トナリ外ハ
米、亞航路ノ要衝ニ當リ殊ニ露領沿海洲及滿韓諸港ニ對シテ密接ノ關係ヲ
有スルヲ以テ本港ニ碇泊シ或ハ津輕海峽ヲ通過スル船舶逐年劇增シ隨テ商
業益盛大トナリ對外ノ港灣トシテ最要重ノ地位ヲ占メ優ニ國港タルノ資
格ヲ有スルニ至レルヲ以テ戰後經營上速ニ國港トシテ修築セラレタシトノ
旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第
六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

○議長(公爵德川家達君) 議事日程ノ第十五ヨリ第二十八マデノ請願ハ皆請
願委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ本日ノ會議ハ終リマ
シタ

〔男爵伊達宗敦君「チョット會我子爵ニ伺ッテ置キマスガ、唯ダ委員付
託ト云フバカリデ委員ノ選舉モ……」ト呼ブ〕

○議長(公爵德川家達君) 御委託ニ相成マシタ特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及
ビマス

〔太田書記官朗讀〕

市場法案特別委員

公爵二條基弘君 伯爵德川達孝君 子爵谷干城君

子爵三島彌太郎君 子爵松平直敬君 男爵有地品之允君

男爵青山元君 木場貞長君 安廣伴一郎君

國語及字音假名遣ニ關スル建議案特別委員

伯爵正親町實正君 子爵鍋島直彬君 子爵平松時厚君

子爵松平承承君 男爵松平正直君 男爵石黒忠恵君

男爵千秋季隆君 伊澤修二君 澤原俊雄君

○議長(公爵德川家達君) 此際諸君ニ申上ゲテ置キマスガ、曾我子爵ノ委員付託ノ動議ニ付イテ、此委員ハ本議場デ選舉スルヤ又議長ニ委託セラルルヤ否ヤト云フコトハ、曾我子爵ノ御申落シト議長ハ考ヘマシテ、先例ニ依ッテ無論、議長指名ト云フコトニ諸君モ御異議ナイト存ジマシタカラ、議長ガ選定ヲ致シマシタ、若シ議長ガ惡ルケレバ御叱リヲ蒙リマス

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 唯ソレダケ念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス、次ノ議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會ヲ致シマス

午後二時十七分散會